

分布調査報告書 (45)

平成 31 年 3 月

山形県教育委員会

序

集落跡・古墳・城館といった遺跡、そこから出土する石器・土器・埴輪といった遺物などが、土地に埋蔵されている状態を総称して埋蔵文化財といいます。山形県には、埋蔵文化財を包蔵する土地として知られている場所が、現在約5千箇所あります。これら埋蔵文化財を含む先人からの贈り物である文化財について、本県では山形の宝として、「知る」「守る」「活かす」取組みを進めております。

本書は、平成29年度に実施した遺跡詳細分布調査についての成果をまとめたものです。関係事業所から事業計画の聴取を経て、周知の遺跡や遺跡可能性地の踏査・試掘調査・工事の立会調査を40件について行いました。

本県には、平成24年9月6日に国宝に指定された土偶「縄文の女神」(舟形町西ノ前遺跡出土)をはじめ、前方後円墳では東北地方有数の規模を誇る国史跡稲荷森古墳(南陽市)、出羽国国府の最終的な所在地の有力な候補となっている国史跡^{きのわのさくあと}城輪柵跡(酒田市)など、地域のシンボルとして重要な文化財が数多くあります。

遺跡や出土文化財は、地域の豊かな歴史と文化を生き活きと物語る県民の共有財産であるとともに、地域に対する誇りや愛着の醸成に欠くことのできないものです。さらには、地域づくりや新たな交流の拡大など、地域活性化につながる資源として期待されています。

このような埋蔵文化財の意義を御理解のうえ、本書を御活用いただきますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、調査にあたり御協力いただきました関係各位に、心からお礼申し上げます。

平成31年3月

山形県教育委員会教育長 廣瀬 渉

例 言

- 1 本書は、平成 29 年度に山形県教育委員会が国庫補助を受けて実施した、平成 30 年度以降の県農林水産部・県県土整備部事業ほか関係遺跡に係る「遺跡詳細分布調査」の報告書である。
- 2 調査と本書の作成は山形県教育庁文化財・生涯学習課の竹田純子、稲村圭一、長橋至、岩崎恒平が担当した。
- 3 遺跡詳細分布調査では、第 I 章に調査の目的と経緯を、第 II 章に調査の概要一覧、試掘調査の結果を記した。第 III 章には、平成 29 年度に市町村教育委員会他から通知・届出あった遺跡の範囲等の修正と新規発見遺跡の一覧を示した。
- 4 挿図の縮尺は任意であり、各図毎にスケールを示した。遺跡地図は国土地理院発行 2 万 5 千分の 1 の地図を使用し、使用地図の一覧は末尾に掲載した。
- 5 挿図及び文中の記号は以下のとおりである。

T は試掘坑もしくはトレンチを表す。図中の赤色部分は遺構・遺物が検出されたことを示し、黒色部分は遺構・遺物が未検出であることを示す。

遺跡位置図の黒枠に赤色部分は遺跡の範囲を示すものである。

なお、以下に調査で使用した検出遺構の略記号を掲載する。

S D：溝状遺構 S K：土坑 S P：柱穴跡・ピット
- 6 遺物写真の縮尺は任意である。
- 7 調査にあたっては、事業関係機関・市町村教育委員会及び地権者各位、地元関係者の御協力をいただきました。ここに記して感謝申し上げます。

目 次

第 I 章 調査の目的と経緯

1 調査の目的	1
2 調査の経緯	1
3 調査の結果	2
平成 29 年度県内遺跡詳細分布調査工程表	2
平成 29 年度県内遺跡詳細分布調査一覧	3

第 II 章 調査の概要

1 平成 29 年度県内遺跡詳細分布調査概要	6
No. 1～14(県農林事業関係遺跡)	14
No.14～21(県農林・県土整備事業関係遺跡)	19
No.22～25(県教育庁・県警察本部・東北農政局事業関係遺跡)	21
No.26～29・31(東北農政局・国土交通省事業関係遺跡)	22
No.29～37(国土交通省事業関係遺跡)	23
No.38～40(国土交通省・東日本旅客鉄道株式会社事業関係遺跡)	25
2 試掘調査の概要	
(1) 西郷名取地区遺跡可能性地 1・2	26
(2) 八反稲干原遺跡	30
(3) 一般国道 344 号道路改良工事(安田バイパス) 遺跡可能性地	33
(4) 藤島城跡	36
(5) 八幡一遺跡	39
(6) 一般国道 113 号梨郷道路 遺跡可能性地 1	41
(7) 一般国道 7 号遊佐象潟道路 遺跡可能性地(野田遺跡東側)	43
(8) 早田 C 遺跡	46
(9) 一般国道 7 号朝日温海道路 遺跡可能性地	48
(10) 川前 2 遺跡	50
(11) 中野目 II 遺跡	56
(12) 最上川上流河川改修事業糠野目地区 遺跡可能性地	61

第Ⅲ章 遺跡の登録、修正と訂正

1 範囲修正、位置訂正	64
2 新規登録	64
平成 29 年度範囲修正・位置訂正遺跡一覧	64
掲載遺跡位置図使用図幅一覧	70
報告書抄録	

第 I 章 調査の目的と経緯

1 調査の目的

平成 29(2017) 年度の遺跡詳細分布調査は、平成 30 年度以降に予定される県内の開発事業計画に先行して、埋蔵文化財包蔵地及び遺跡可能性地他について踏査及び試掘調査を行い、遺跡の有無、範囲、時代、種別などの内容を明らかにすることを目的として実施した。この調査によって得られた結果は、各開発計画との調整に資され、遺跡の保護と保存のために活用されるものである。

なお、山形県教育委員会で行う遺跡詳細分布調査は、以下の四つに区分している。

(1) 踏査・現地確認調査 (A 調査)

開発事業計画の予定地内などにおいて踏査を行い、遺跡の所在や範囲の確認をする。事業計画区域と遺跡との平面的な関係を確認する調査である。

(2) 試掘調査・遺跡確認調査 (B 調査)

坪掘りやトレンチ掘りによる調査を行い、遺構や遺物の平面的な分布範囲や遺構確認面までの深さ等を把握して、遺跡内容の情報を収集する調査である。

(3) 記録保存のための発掘調査 (C 調査)

踏査や試掘調査の結果、遺跡の遺存状況が良好でない場合や、遺跡の開発事業にかかる面積が狭小な場合、あるいは事業区に接する程度等の場合に、必要に応じて実施する記録保存のための発掘調査である。

(4) 工事立会調査

開発事業による遺跡への影響が軽微な場合や開発面積が狭小な場合に、工事に立ち会って実施する調査である。この調査によって遺構や遺物が発見された場合には、記録保存を行う。

2 調査の経緯

山形県教育委員会では、例年 5 月～6 月に開発関係機関に今後の事業計画についての照会を行う。回答を受けて、7 月に事業内容の聴取を実施して、事業計画と埋蔵文化財包蔵地との関係について打合せを行っている。この結果に基づき必要に応じた分布調査を行い、事業との調整を図っている。その他、開発関係機関から提出された事業計画に基づく分布調査も随時行っている。

平成 29 年度の調査は、「平成 29 年度県内遺跡詳細分布調査一覧」(3 頁)に示した各遺跡の調査を、平成 29 年 4 月から平成 30 年 3 月まで「平成 29 年度県内遺跡詳細分布調査工程表」(2 頁)の工程で行うとともに、事業予定区内外における埋蔵文化財包蔵地の有無を確認するための踏査と試掘調査も併せて実施した。

なお、平成 29 年度に県教育委員会及び市町村教育委員会が新たに発見した遺跡(平成 29 年度登録遺跡)、範囲等を訂正した遺跡は、第 III 章に示した。

調査の内容と結果については、第 II 章に表形式で概要をとりまとめ報告し、遺跡位置図と調査写真をその後に掲載した。分布調査の結果、開発事業実施にあたって記録保存のための発掘調査が避けら

れないものについては、さらに次節で試掘調査結果の詳細を報告した。

3 調査の結果

踏査、試掘調査、工事立会調査をした周知の遺跡と遺跡可能性地及び事業対象地区は 40 件である。事業ごとの内訳は、県農林水産部事業が 14 件、県国土整備部事業が 7 件、県教育庁事業が 2 件、県警察本部が 1 件、東北農政局が 2 件、国土交通省事業が 12 件、東日本旅客鉄道株式会社事業が 2 件である。

調査の内訳は、踏査が 29 件、試掘調査が 12 件、工事立会が 5 件である。なお、踏査と試掘調査の両方を行った遺跡は 4 件、踏査と工事立会の両方を行った遺跡は 2 件ある。

このうち、開発事業にあたって記録保存のための発掘調査が避けられない遺跡は、3 件である。県教育庁の庄内農業高等学校ライスセンター改築事業に係る藤島城跡（鶴岡市）、最上川河川改修事業に係る川前 2 遺跡（山形市）、中野目Ⅱ遺跡（山形市）である。

平成 29 年度県内遺跡詳細分布調査工程表

事業区分		平成 29(2017) 年									平成 30(2018) 年		
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
踏査・試掘調査・工事立会	県農林水産部	■	■					■	■	■			
	県国土整備部			■				■	■	■			■
	県教育庁							■			■		
	県警察本部					■							
	東北農政局									■			
	国土交通省	■			■	■	■	■	■	■	■		
	東日本旅客鉄道株式会社				■								
平成 30 年度以降の埋蔵文化財包蔵地に係る開発事業計画の照会・聴取			■		■								
整理作業	出土品・記録の整理										■	■	■
	報告書原稿作成										■	■	■

平成 29 年度県内遺跡詳細分布調査一覧

事業 区分	No.	事業名	地区名	遺跡名 (遺跡番号)	調査区分				備考
					踏査	試掘	記録 保存	工事 立会	
県 農 林 水 産 部	1	農地整備事業(耕作 放棄地型)	松沢地区	松沢遺跡(207-013) 細谷館跡(207-015)	○				
	2	農地整備事業(経営 体育成型)	引竜地区	花ノ木遺跡(321-031) 笹本遺跡(321-039)	○				
	3	農地整備事業(経営 体育成型)	常万地区	遺跡可能性地1・2	○				
	4	農地整備事業(経営 体育成型)	平岡地区	新田平岡遺跡(364-041) 片杉野遺跡(364-047)	○				
	5	農地整備事業(経営 体育成型)	杉沢前田地区	杉沢C遺跡(461-145) 杉沢B遺跡(461-146) 杉沢奥屋遺跡(461-136)	○				
	6	農地整備事業(経営 体育成型)	円能寺・沖地区		○				
	7	農地整備事業(経営 体育成型)	西郷名取地区	遺跡可能性地1・2	○	○			
	8	農地整備事業(経営 体育成型)	高壇地区		○				
	9	農地整備事業(中山 間地域型)	上郷地区		○				
	10	農村地域防災減災 事業(ため池整備・ 用排水施設等整備 事業)	東根地区	薬師山楯跡(211-071) 大木沢ダム遺跡(211-079)	○			○	
	11	農村地域防災減災 事業(ため池整備、 用排水施設等整備 事業)	大江中部地区	三合田遺跡(324-045) 大城跡(324-053)	○				
	12	農村地域防災減災 事業(ため池整備事 業)	間坂地区	家老在家館跡(202-068)	○				
	13	農村地域防災減災 事業(用排水施設整 備事業)	長瀬河島地区	河島八反遺跡(208-024) 月山堂遺跡(211-058)	○				

I 調査の目的と経緯

事業区分	No.	事業名	地区名	遺跡名 (遺跡番号)	調査区分				備考
					踏査	試掘	記録保存	工事立会	
水産部 県農林	14	森林管理道念珠関線開設工事		早田C遺跡(441-012)近接地	○				
県土整備部	15	大豆川河川整備補助事業		八反稲干原遺跡(208-019)		○			
	16	道路改築事業(補助)(国)287号道路改良工事	米沢北バイパス工区		○				
	17	道路改築事業(主)真室川鮭川線道路改良工事	佐渡坂工区	熊野館跡(366-046)	○				
	18	道路改築事業344号道路改良工事	安田バイパス	遺跡可能性地		○			
	19	マキノ沢地区土砂災害対策事業		大沢第2遺跡(209-190) 九兵衛山遺跡(209-192)	○			○	
	20	虫沢土砂災害対策事業		下荻館跡(213-132)	○				
	21	赤山地すべり対策事業			○				
県教育庁	22	県立鶴岡工業高等学校校舎整備事業 体育館建設工事		鶴ヶ岡城跡(203-044)隣接地				○	
	23	庄内農業高等学校ライスセンター改築事業		藤島城跡(423-034)		○			
県警察本部	24	交番・駐在所整備事業	新庄警察署肘折駐在所		○				
東北農政局	25	国営かんがい排水事業	毒蛇排水機場		○				
	26	国営かんがい排水事業	中央排水機場・中央排水路		○				

事業区分	No.	事業名	地区名	遺跡名 (遺跡番号)	調査区分				備考
					踏査	試掘	記録保存	工事立会	
国土交通省	27	一般国道 113 号梨郷道路		八幡一遺跡 (382-194)		○			
	28	一般国道 113 号梨郷道路		遺跡可能性地 1		○			
	29	一般国道 7 号遊佐象潟道路	遊佐町当山・直世・吹浦	戸之内田遺跡 (461-052)	○				
	30	一般国道 7 号遊佐象潟道路	町道山崎・菅野谷地線～ JR 奥羽線区間	遺跡可能性地 (野田遺跡東側)	○	○			
	31	一般国道 7 号遊佐象潟道路	奥羽本線東側～洗沢川東側		○				
	32	一般国道 7 号朝日温海道路	朝日～温海	早田 C 遺跡 (441-012)		○			
	33	一般国道 7 号朝日温海道路	鶴岡市鼠ヶ関～鶴岡市大岩川	遺跡可能性地	○	○			
	34	最上川上流河川改修事業	須川地区	川前 2 遺跡 (201-244)		○			
	35	最上川上流河川改修事業	須川地区	中野目 II 遺跡 (201-135)		○			
	36	最上川上流河川改修事業	糠野目地区	遺跡可能性地	○	○			
	37	最上川直轄河川改修事業 (最上川中流)	戸沢村皿島		○				
	38	池の頭砂防堰堤工事	鶴岡市大鳥字松ヶ崎		○				
	東日本旅客鉄道株式会社	39	J R 東日本在来線列車無線地上設備取替	米坂線	古館跡 (382-054) 近接地				○
40		J R 東日本在来線列車無線地上設備取替	米坂線	台ノ上遺跡 (202-401) 近接地				○	

第II章 調査の概要

1 平成29年度県内遺跡詳細分布調査概要

事業区分	No.	事業名	地区名	遺跡名 (遺跡番号)	所在地	遺跡種別	時期
県 農 林 水 産 部	1	農地整備事業(耕作放棄地型)	松沢地区	松沢遺跡(207-013) 細谷館跡(207-015)	上山市松沢 上山市細谷	集落跡 館跡	縄文時代 中世
	2	農地整備事業(経営体 育成型)	引竜地区	花ノ木遺跡(321-031) 笹本遺跡(321-039)	河北町吉田 河北町岩木	集落跡 遺物包蔵地	縄文・弥生 縄文時代
	3	農地整備事業(経営体 育成型)	常万地区	遺跡可能性地1・2	庄内町常万		
	4	農地整備事業(経営体 育成型)	平岡地区	新田平岡遺跡 (364-041) 片杉野遺跡 (364-047)	真室川町平岡	集落跡 散布地	縄文時代
	5	農地整備事業(経営体 育成型)	杉沢前田地 区	杉沢C遺跡(461-145) 杉沢B遺跡(461-146) 杉沢奥屋遺跡 (461-136)	遊佐町杉沢	集落跡 集落跡 散布地	縄文時代 縄文・弥生 縄文時代
	6	農地整備事業(経営体 育成型)	円能寺・沖 地区		酒田市中野俣		
	7	農地整備事業(経営体 育成型)	西郷名取地 区	可能性地1・2	村山市名取・ 大淀		
	8	農地整備事業(経営体 育成型)	高壇地区		新庄市十日町		
	9	農地整備事業(中山間 地域型)	上郷地区		飯豊町小白川		
	10	農村地域防災減災事 業(ため池整備、用排 水施設等整備事業)	東根地区	薬師山楯跡(211-071) 大木沢ダム遺跡 (211-079)	東根市東根	城館跡 古墳	中世 古墳時代
	11	農村地域防災減災事 業(ため池整備、用排 水施設等整備事業)	大江中部地 区	三合田遺跡(324-045) 大城跡(324-053)	大江町十八才	遺物包蔵地 城館跡	縄文時代 中世

立地	地目	調査概要	検出遺構	出土遺物	調査区分
山麓 扇状地	畑、果樹、 田(荒地)	松沢遺跡は、事業予定地の範囲外と判断される。細谷館跡は一部が事業予定地内に含まれるため、今後試掘調査を実施予定。	無し	無し	踏査
自然堤防・ 微高地 平地	田	遺跡範囲外では遺構遺物は確認されなかった。両遺跡とも水路工を予定しているが、花ノ木遺跡については工事立会を勧告予定。新たな掘削を伴わない笹本遺跡は慎重工事を勧告予定。	無し	無し	踏査
沖積地	田	事業予定地のうち平成30・31年度整地工予定地と、平成32年度整地工予定地のうち飛地部分2か所の踏査を実施。平成30年度整地工予定地の遺物採取地点2箇所を「遺跡可能性地1」、「遺跡可能性地2」とし、今後試掘調査を実施予定。	無し	須恵器 土師器	踏査
段丘	田	新田平岡遺跡の南に位置する土側溝で縄文土器片1点を採取。周辺を遺跡可能性地とし、今後試掘調査を実施予定。また、新田平岡遺跡・片杉野遺跡範囲についても今後試掘調査を実施予定。	無し	縄文土器	踏査
山麓、平 地	田、畑、 荒蕪地	杉沢B遺跡のさらに南側で縄文土器片と石器を採取。杉沢A遺跡の隣接地、杉沢B遺跡とその南側、杉沢C遺跡とその周辺において、今後試掘調査を実施予定。杉沢奥屋遺跡については、遺跡位置に誤りがあり、事業範囲外となることが判明したため、今後範囲修正を行う。	無し	縄文土器 石器	踏査
河岸段丘	田	事業予定地は中野俣川左岸の段丘上に位置する。踏査の結果、遺構・遺物は確認されなかった。	無し	無し	踏査
段丘	田、畑	事業予定地内の2か所で遺物を採取。それぞれ遺跡可能性地1・2とし、試掘調査を実施したが、両地点ともに遺構は確認されなかった。	無し	縄文土器 須恵器	踏査 試掘
段丘	田、畑	事業予定地は泉田川・指首野川に挟まれた段丘上に立地する。踏査の結果、遺構・遺物は確認されなかった。	無し	無し	踏査
段丘	田	事業予定地は小白川の右岸・左岸の段丘上に立地する。踏査の結果、遺構・遺物は確認されなかった。	無し	無し	踏査
谷底平野	ため池	薬師山楯跡では隧道改修が行われるが、遺跡への影響はないと判断された。大木沢ため池堤体工耐震補強、隧道改修、その他付帯工事に係る工事立会を実施した。遺構・遺物は検出されなかった。	無し	無し	踏査 工事立会
自然堤防 山地・丘 陵	田・畑	詳細な事業計画図の完成後、再度遺跡範囲の確認を行うこととした。	無し	無し	踏査

II 調査の概要

事業区分	No.	事業名	地区名	遺跡名 (遺跡番号)	所在地	遺跡種別	時期
県農林水産部	12	農村地域防災減災事業(ため池整備事業)	間坂地区	家老在家館跡(202-068)	米沢市下小菅	城館跡	中世
	13	農村地域防災減災事業(用排水施設整備事業)	長瀬河島地区	河島八反遺跡(208-024)	村山市河島	散布地	平安時代
				月山堂遺跡(211-058)	東根市長瀬	集落跡	平安時代
14	森林管理道念珠関線開設工事		早田C遺跡(441-012)近接地	鶴岡市早田	遺物包蔵地	縄文時代	
県土整備部	15	大亘川河川整備補助事業		八反稲干原遺跡(208-019)	村山市河島	散布地	縄文・平安時代
	16	道路改築事業(補助)(国)287号道路改良工事	米沢北バイパス工区		米沢市六郷町		
	17	道路改築事業(主)真室川鮭川線道路改良工事	佐渡坂工区	熊野館跡(366-046)	鮭川村大字佐渡	城館跡	
	18	道路改築事業344号道路改良工事	安田バイパス	遺跡可能性地	酒田市安田		
	19	マキノ沢土砂災害対策事業		大沢第2遺跡(209-190)	長井市寺泉	集落跡	縄文時代
				九兵衛山遺跡(209-192)			
	20	虫沢土砂災害対策事業		下荻館跡(213-132)	南陽市下荻	城館跡	
21	赤山地すべり対策事業			南陽市荻			
県教育庁	22	県立鶴岡工業高等学校校舎整備事業体育館建設工事		鶴ヶ岡城跡(203-044)隣接地	鶴岡市家中新町		

立地	地目	調査概要	検出遺構	出土遺物	調査区分
山地・丘陵	山林	埋蔵文化財包蔵地の位置関係の確認を目的とした踏査を実施した。詳細計画図の完成後、再度遺跡との位置関係の確認を行うこととした。	無し	無し	踏査
自然堤防・ 後背湿地 扇状地	田	事業予定地は河島八反遺跡の範囲外であるが、隣接地のため工事の際に現地確認予定。月山堂遺跡は事業予定地が遺跡範囲内であることから、工事立会の勧告予定。	無し	無し	踏査
山麓	田	事業予定地は早田川により形成された沢であり、この沢を開発した水田に遺跡は所在しないと考えられる。	無し	無し	踏査
後背湿地	荒蕪地	事業予定地に6箇所のトレンチを設定し、試掘調査を実施した。その結果、T5トレンチで平安時代の竪穴建物跡を検出した。他のトレンチの状況から、部分的に遺跡が遺存しているものと考えられるため、工事立会を勧告予定。	竪穴建物跡	土師器	試掘
氾濫原	田	事業予定地は、鬼面川左岸の氾濫原に位置する。踏査の結果、遺構・遺物は確認されなかった。	無し	無し	踏査
段丘	山林	事業予定地は、鮭川右岸の氾濫原～段丘の境界部分に位置する。路線拡幅部分及び水路部分については、遺構・遺物は確認されなかった。拡幅部分が館跡裾部に一部かかるが、館跡本体への影響は極めて少ないものと判断されたため、慎重工事の勧告予定。	無し	無し	踏査
沖積地	荒蕪地	H28年度の調査に続きトレンチ7本を設定し、試掘調査を実施した。調査の結果、遺構・遺物は確認されなかった。	無し	無し	試掘
山地・丘陵地	山林	事業予定地のうち、大沢第2遺跡の範囲については、樹林伐採前の事前試掘調査が困難であったため、工事立会とすることとした。工事着手時に3箇所の試掘トレンチを設定し調査を行ったが、遺構・遺物は確認されなかった。 床止工予定地である九兵衛山遺跡の範囲については、事業実施予定がH32年以降であるため、詳細確定後に対応することとした。	無し	無し	踏査 工事立会
山腹	山林	堰堤工事は館跡の斜面下部に一部かかるが、館本体への影響は極めて少ない。慎重工事の勧告とする。	無し	無し	踏査
山麓	宅地・原野	事業予定地は県道山形南陽線に面して県道の東側に位置する。踏査の結果、遺構・遺物は確認されなかった。	無し	無し	踏査
扇状地	学校用地	体育館改築に係る工事立会を行なった。攪乱等から陶磁器類が出土したため、工区ごとに遺物の回収のみを実施した。	無し	陶磁器	工事立会

II 調査の概要

事業区分	No.	事業名	地区名	遺跡名 (遺跡番号)	所在地	遺跡種別	時期
県教育庁	23	庄内農業高等学校ライスセンター改築事業		藤島城跡 (423-034)	鶴岡市藤島	城館跡	中世
本部 県警察	24	交番・駐在所整備事業	新庄警察署肘折駐在所		大蔵村南山		
東北農政局	25	国営かんがい排水事業	毒蛇排水機場		酒田市丸沼		
	26	国営かんがい排水事業	中央排水機場・中央排水路		酒田市落野目		
国土交通省	27	一般国道 113 号梨郷道路		八幡一遺跡 (382-194)	川西町西大塚	集落跡	奈良・平安時代、中世
	28	一般国道 113 号梨郷道路		遺跡可能性地 1	川西町西大塚		
	29	一般国道 7 号遊佐象潟道路	遊佐町当山・直世・吹浦	戸之内田遺跡 (461-052)	遊佐町吹浦	散布地	平安時代
	30	一般国道 7 号遊佐象潟道路	町道山崎・菅野谷地線～JR 奥羽線区間	遺跡可能性地 (野田遺跡東側)	遊佐町当山		
	31	一般国道 7 号遊佐象潟道路	奥羽本線東側～洗沢川東側		遊佐町当山・直世		
	32	一般国道 7 号朝日温海道路	朝日～温海	早田 C 遺跡 (441-012)	鶴岡市大岩川	遺物包蔵地	縄文時代
	33	一般国道 7 号朝日温海道路	鶴岡市鼠ヶ関～鶴岡市大岩川	遺跡可能性地	鶴岡市鼠ヶ関、大岩川		
	34	最上川上流河川改修事業	須川地区	川前 2 遺跡 (201-244)	山形市中野目	集落跡	古墳時代 奈良・平安時代

立地	地目	調査概要	検出遺構	出土遺物	調査区分
自然堤防	学校用地	事業予定地に4箇所の特レンチを設定し、試掘調査を実施した結果、4箇所全てで柱穴、土坑、炭化物の広がりを検出した。H30年度に発掘調査実施で調整。	柱穴・土坑	青磁片	試掘
丘陵地	宅地・原野	建設予定地は銅山川右岸の急傾斜地に位置し、村立肘折保育所の南側である。遺構・遺物は確認されなかった。	無し	無し	踏査
氾濫原	田	事業予定地は最上川の左岸、庄内中央大橋の東側である。踏査の結果、遺構・遺物は確認されなかった。	無し	無し	踏査
氾濫原	田	事業予定地は京田川の右岸、北側を最上川が流れる。踏査の結果、遺構・遺物は確認されなかった。	無し	無し	踏査
段丘、後背湿地	宅地、荒蕪地	事業予定地内に特レンチを3箇所設定し、調査を行ったが、遺構・遺物は確認されなかった。	無し	無し	試掘
泥炭地	田	事業予定地に7箇所の特レンチを設定し、試掘調査を実施した。調査の結果、遺構・遺物は確認されなかった。	無し	無し	試掘
山麓	山林	国指定史跡「鳥海山」の北側に比較的平坦な地形を確認した。当該地には国史跡に関する遺跡が所在する可能性があるため、「遺跡可能性地1」として今後試掘調査を実施予定。戸之内田遺跡内の事業予定地についても、今後試掘調査を実施予定。	無し	無し	踏査
沖積地	田	踏査の結果、須恵器片等を採取したことから、遺跡可能性とした。特レンチを29箇所設定し、遺跡可能性地の試掘調査を実施したが、遺構・遺物は確認されなかった。	無し	須恵器片 土師器片	踏査 試掘
沖積地	田	事業予定地のうちJR羽越本線の東側の一部と、洗沢川の東側の一部について、踏査を実施した。踏査の結果、遺構・遺物は確認されなかった。	無し	無し	踏査
山麓	宅地・田・畑	事業予定地のうち、早田C遺跡の範囲となる部分に特レンチ2箇所を設定し、試掘調査を実施した。調査の結果、遺構・遺物は確認されなかった。	無し	無し	試掘
谷底平野・氾濫原	田・畑・荒蕪地	鼠ヶ関：杭No.25～45。杭No.25～30付近は平坦地となっており、遺跡が所在する可能性があるため、遺跡可能性地とし、試掘調査を実施したが、遺構・遺物は確認されなかった。 大岩川：杭No.260～270の区間については、遺構・遺物は確認されなかった。	無し	無し	踏査 試掘
自然堤防	荒蕪地	事業予定地内に特レンチを5箇所設定し、試掘調査を行ったところ、T1～T4特レンチにおいて遺構・遺物が確認された。H30年度に発掘調査実施で調整。	竪穴建物跡、土坑、ピット、溝状遺構	須恵器片 土師器片	試掘

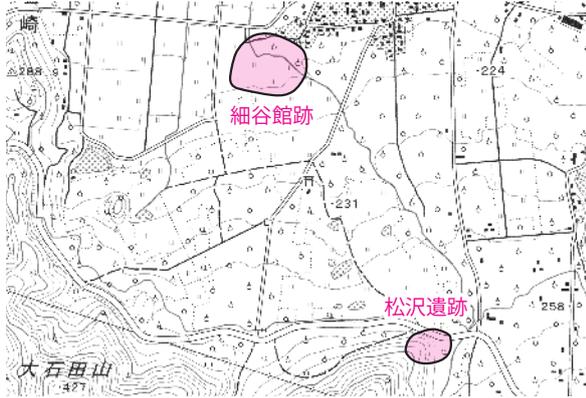
II 調査の概要

事業区分	No.	事業名	地区名	遺跡名 (遺跡番号)	所在地	遺跡種別	時期
国土交通省	35	最上川上流河川改修事業	須川地区	中野目Ⅱ遺跡 (201-135)	山形市中野目	集落跡	奈良・平安時代
	36	最上川上流河川改修事業	糠野目地区	遺跡可能性地	高畠町上平柳		
	37	最上川直轄河川改修事業(最上川中流)	戸沢村皿島		戸沢村皿島		
	38	池の頭砂防堰堤工事	鶴岡市大鳥字松ヶ崎		鶴岡市大鳥字松ヶ崎		
東日本旅客鉄道株式会社	39	J R 東日本在来線列車無線地上設備取替	米坂線	古館跡 (382-054) 隣接地	川西町下小松	城館跡	中世
	40	J R 東日本在来線列車無線地上設備取替	米坂線	台ノ上遺跡 (202-401) 近接地	米沢市福田町	集落跡	縄文時代

立地	地目	調査概要	検出遺構	出土遺物	調査区分
自然堤防	荒蕪地	事業予定地内に合計4箇所の試掘トレンチを設定し、試掘調査を実施した。T1トレンチからT3トレンチにかけて遺構・遺物を確認した。H30年度に発掘調査実施で調整。	柱穴、土抗、溝状遺構	須恵器片 土師器片	試掘
自然堤防	荒蕪地	踏査の結果、遺構・遺物は確認されなかったが、事業予定地南部にあたる自然堤防上には遺跡が存在する可能性があることから、当該地を「遺跡可能性地」とし、試掘調査を実施した。6箇所のトレンチを設定し調査を実施したところ、1箇所で遺物包含層が確認されたが、広く土地の改変が行われており、遺跡範囲も明確でないことから、遺跡登録は行わなかった。	無し	須恵器片 土師器片	踏査 試掘
氾濫原	畑	輪中堤防建設予定地は最上川の右岸、古口大橋の南東に位置する。踏査の結果、遺構・遺物は確認されなかった。	無し	無し	踏査
段丘	山林・田	堤体建設予定地は八幡神社の南に位置する。踏査の結果、遺構・遺物は確認されなかった。	無し	無し	踏査
河間低地	鉄道用地	JR米坂線沖中踏切において、ハンドホール新設工事に伴う工事立会を実施。線路東側小国方(1.2m×1.5m×1.3m)及び米沢方(1.2m×1.5m×1.3m)2箇所を掘削。いずれも線路敷設に伴う盛土内での工事であり、遺構・遺物は確認されず、隣接する古館跡への影響はないものと判断された。	無し	無し	工事立会
谷底平野・氾濫原	鉄道用地	JR米坂線在家踏切において、ハンドホール新設工事に伴う工事立会を実施。線路南側小国方(1.5m×1.4m×1.2m)及び米沢方(1.0m×1.35m×1.4m)2箇所を掘削。いずれも線路敷設に伴う盛土内での工事であり、遺構・遺物は確認されず、隣接する台ノ上遺跡への影響はないものと判断された。	無し	無し	工事立会

II 調査の概要

※ 位置図・図版の番号は分布調査概要の番号と一致する



1 松沢地区関係遺跡



1 松沢遺跡(西から)



1 細谷館跡(北から)



2 花ノ木遺跡



2 花ノ木遺跡(南から)



2 菅本遺跡



2 菅本遺跡(南から)



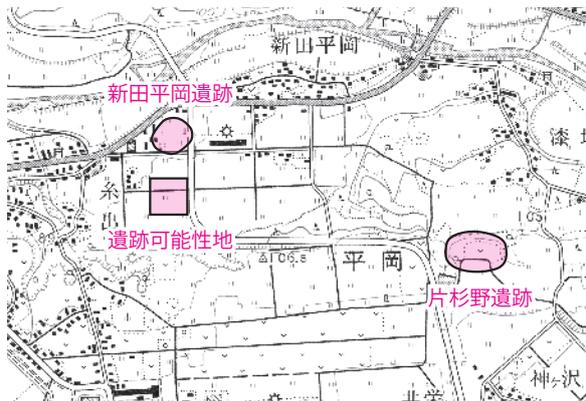
3 常万地区遺跡可能性地1・2



3 常万地区遺跡可能性地1(西から)



3 常万地区遺跡可能性地2(南から)



4 平岡地区関係遺跡



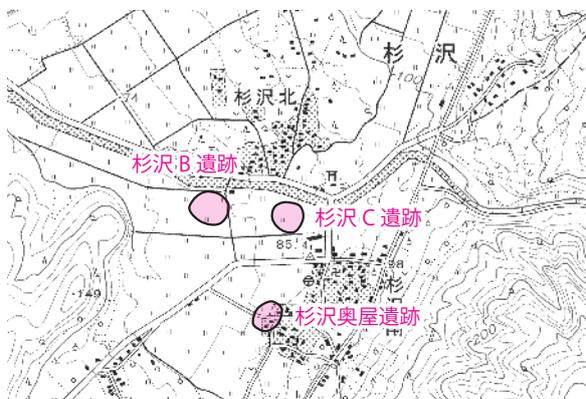
4 新田平岡遺跡(東から)



4 片杉野遺跡(南から)



4 遺跡可能性地(南西から)



5 杉沢前田地区関係遺跡

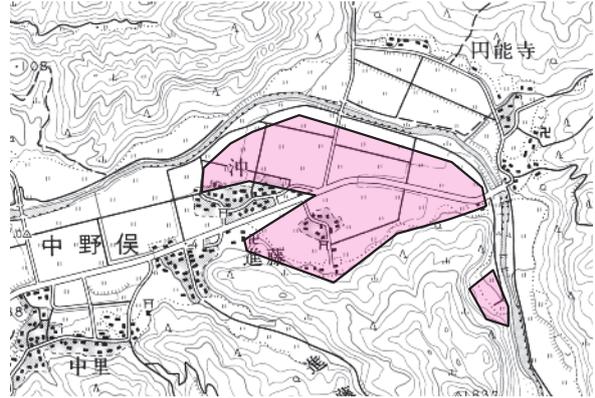


5 杉沢B遺跡(南から)

II 調査の概要



5 杉沢C遺跡(北から)



6 円能寺・沖地区



6 円能寺・沖地区(東から)



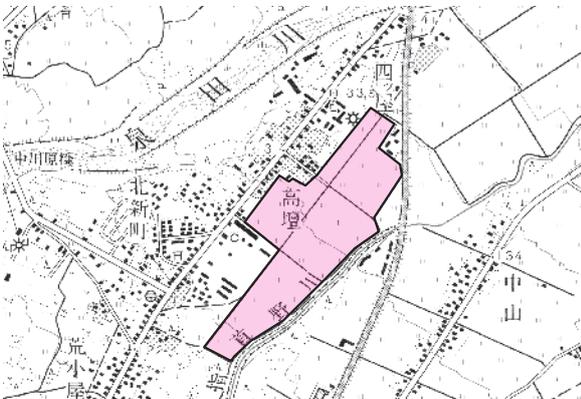
7 西郷名取地区



7 遺跡可能性地1(南東から)



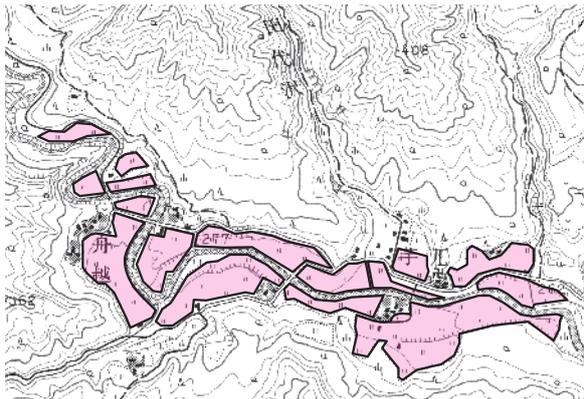
7 遺跡可能性地2(西から)



8 高壇地区



8 高壇地区(南から)



9 上郷地区



9 上郷地区 (東から)



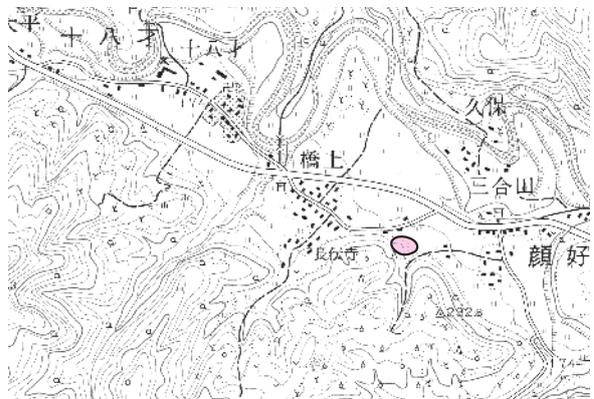
10 薬師山橋跡、大木沢ダム遺跡



10 薬師山橋跡 (北から)



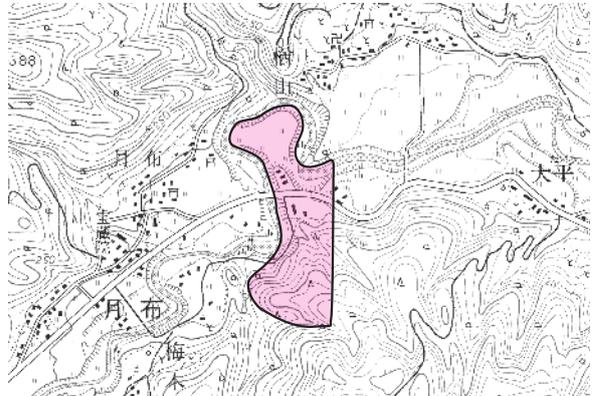
10 大木沢ダム遺跡 (北東から)



11 三合田遺跡



11 三合田遺跡 (北から)

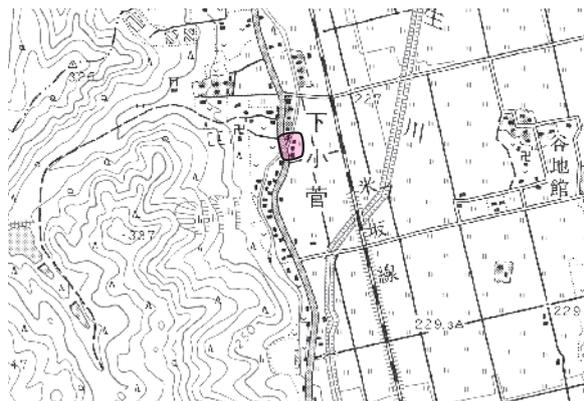


11 大城跡

II 調査の概要



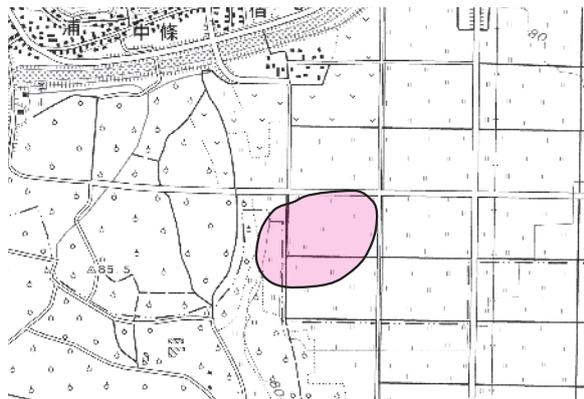
11 大城跡 (北東から)



12 家老在家館跡



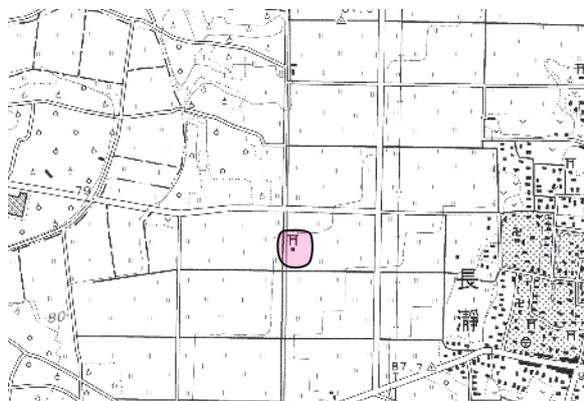
12 家老在家館跡 (南から)



13 河島八反遺跡



13 河島八反遺跡 (北東から)



13 月山堂遺跡



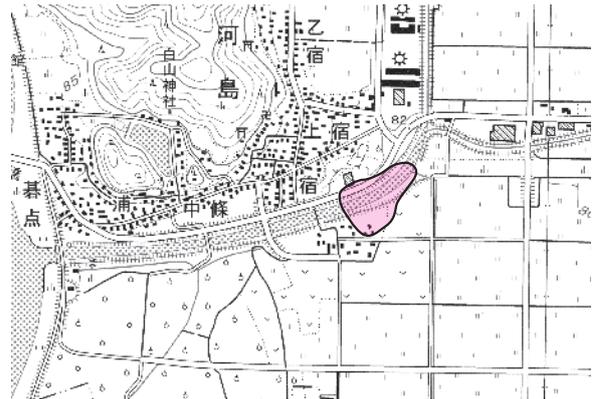
13 月山堂遺跡 (南から)



14 森林管理道念珠関線開設工事



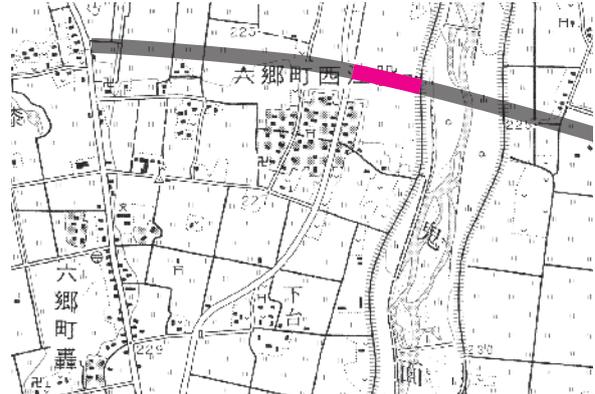
14 森林管理道念珠関線開設工事(南西から)



15 八反稻干原遺跡



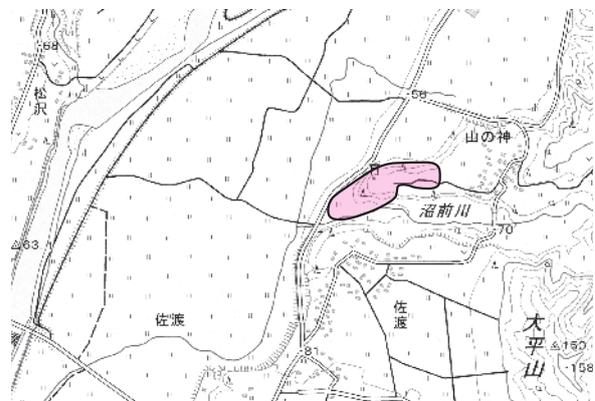
15 八反稻干原遺跡(南東から)



16 米沢北バイパス工区



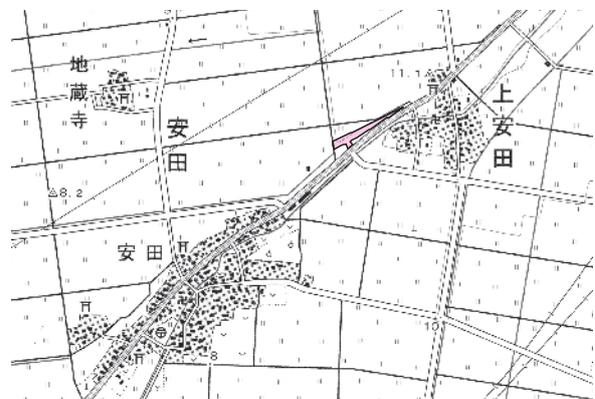
16 米沢北バイパス工区(西から)



17 熊野館跡



17 熊野館跡(南から)

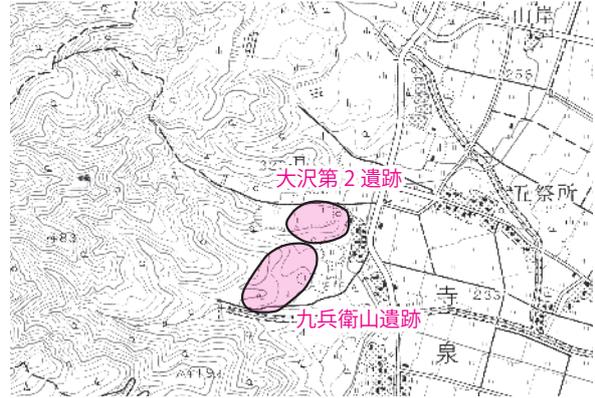


18 安田バイパス遺跡可能性地

II 調査の概要



18 安田バイパス遺跡可能性地 (北東から)



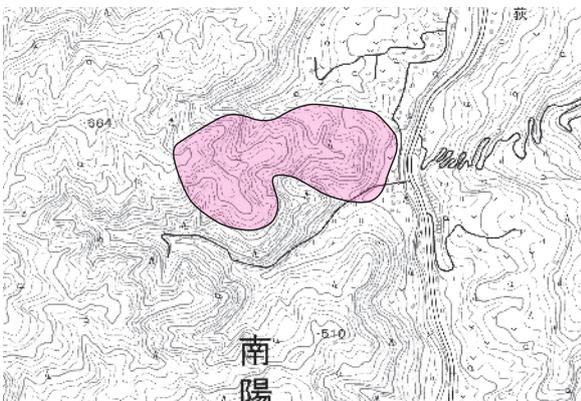
19 マキノ沢地区関連遺跡



19 大沢第2遺跡工事立会



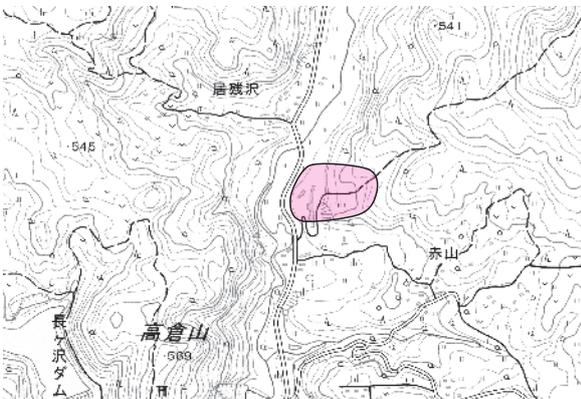
19 大沢第2遺跡工事立会 T3断面 (南から)



20 下荻館跡



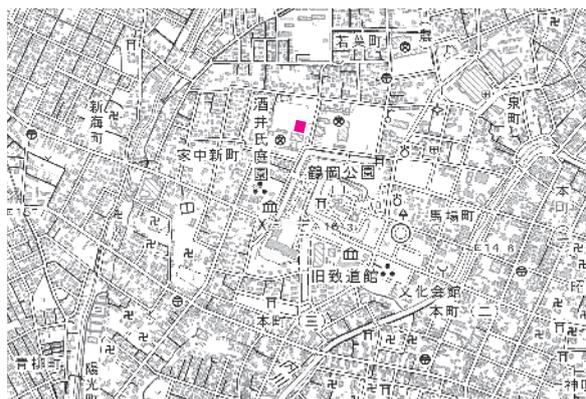
20 下荻館跡 (東から)



21 赤山地すべり対策事業



21 赤山地すべり対策事業 (西から)



22 県立鶴岡工業高等学校体育館建設工事



22 県立鶴岡工業高等学校体育館建設工事立会 (北西から)



23 藤島城跡



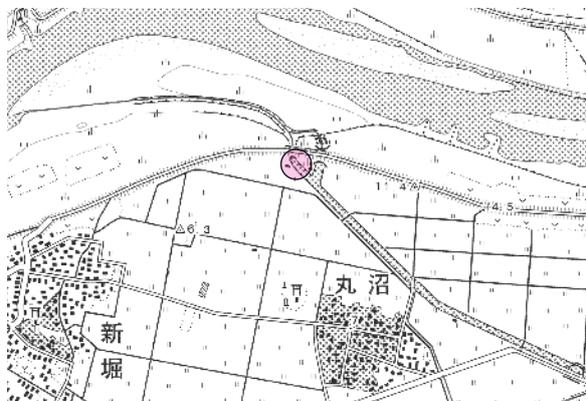
23 藤島城跡 (南西から)



24 新庄警察署肘折駐在所



24 新庄警察署肘折駐在所 (南から)

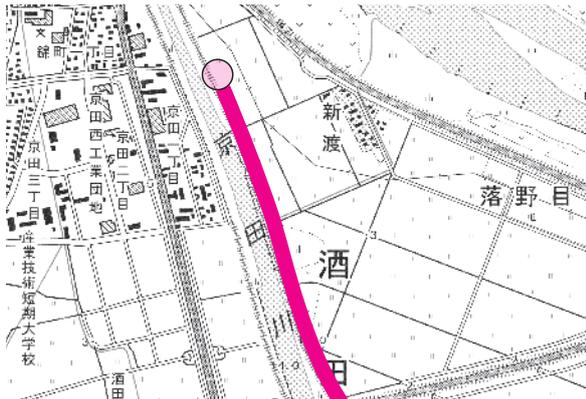


25 国営かんがい排水事業毒蛇排水機場



25 国営かんがい排水事業毒蛇排水機場 (北から)

II 調査の概要



26 国宮かんがい排水事業中央排水機場・中央排水路



26 国宮かんがい排水事業中央排水機場 (北西から)



27 八幡一遺跡



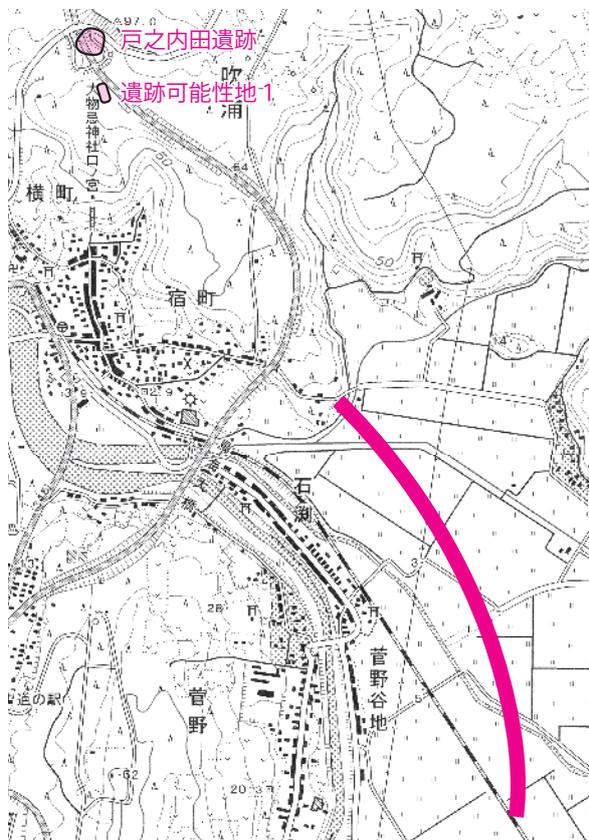
27 八幡一遺跡 (北東から)



28 梨郷道路：遺跡可能性地 1



28 梨郷道路：遺跡可能性地 1 (北から)



29・31 戸之内田遺跡、遺跡可能性地 1、奥羽本線東側～洗沢川東側



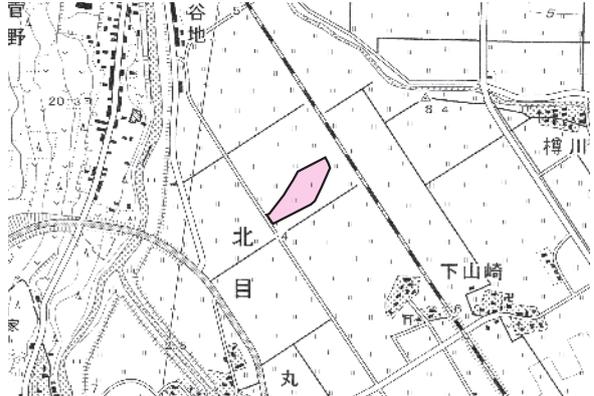
29 戸之内田遺跡 (西から)



29 遺跡可能性地1 (南から)



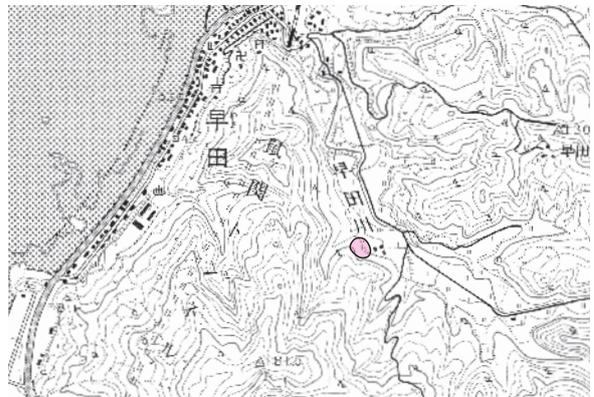
31 奥羽本線東側～洗沢川東側 (西から)



30 遺跡可能性地 (野田遺跡東側)



30 遺跡可能性地 (野田遺跡東側) (南西から)



32 早田C遺跡



32 早田C遺跡 (南東から)

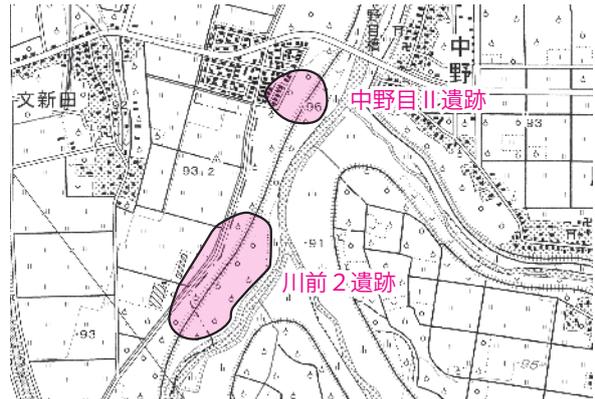


33 朝日温海道路：遺跡可能性地

II 調査の概要



33 遺跡可能性地 (東から)



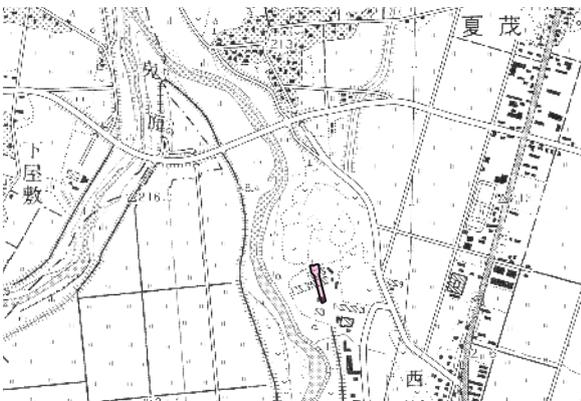
34 川前2遺跡、35 中野目II遺跡



34 川前2遺跡 (南から)



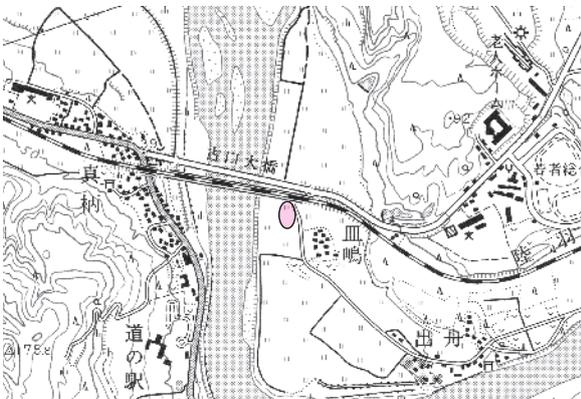
35 中野目II遺跡 (南西から)



36 糠野目地区遺跡可能性地



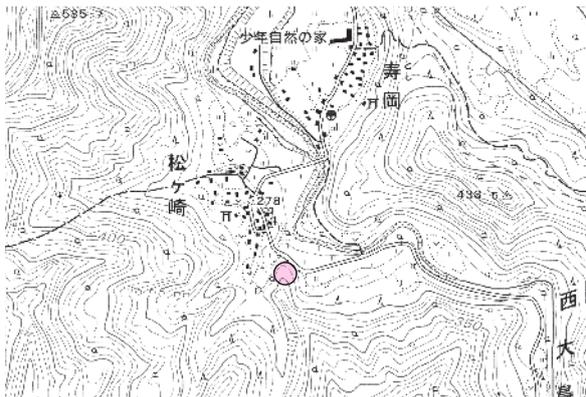
36 糠野目地区遺跡可能性地 (北から)



37 最上川直轄河川改修事業 (最上川中流域)



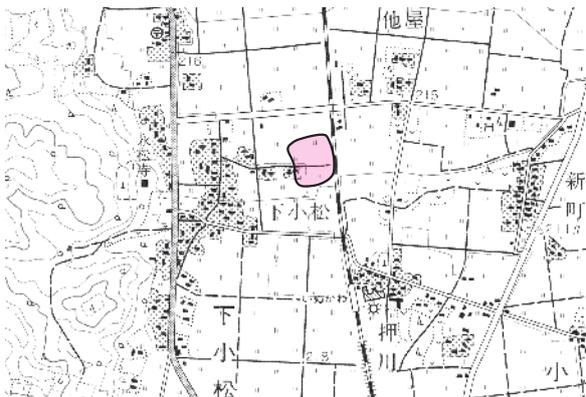
37 最上川直轄河川改修事業 (最上川中流域) (南西から)



38 池の頭砂防堰堤工事



38 池の頭砂防堰堤工事 (北東から)



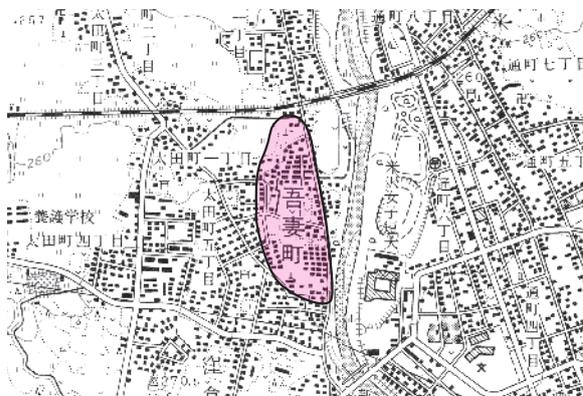
39 古館跡



39 古館跡近接地工事立会箇所 (西から)



39 古館跡近接地掘削箇所 (米沢方) 断面 (東から)



40 台ノ上遺跡



40 台ノ上遺跡近接地掘削箇所 (小国方) 断面 (南から)



40 台ノ上遺跡近接地掘削箇所 (米沢方) 断面 (南東から)

2 試掘調査の概要

(1) 西郷名取地区遺跡可能性地 1・2

所在地	山形県村山市名取、大淀
調査員	竹田純子 長橋至
調査期日	平成 29 年 12 月 11・12 日
起因事業	農地整備事業（経営体育成型）
遺跡立地	標高：約 84 m、立地：河岸段丘、地目：田・畑
試掘区	事業予定地内にトレンチ 11 箇所を設定した。
試掘方法	重機及び人力で試掘調査を実施。
試掘面積	133㎡
検出遺構	なし
出土遺物	土師器片
時代	—
所見	○遺跡可能性地 1

踏査時に須恵器片を採取したことから、古代の遺跡を想定して試掘調査を実施した。トレンチを 10 箇所設定し、試掘調査を行った。トレンチ 2 において一部に土色変化が確認され、細かい土師器片が出土したものの、明確な遺構とは判断できなかった。その他のトレンチにおいて、遺構・遺物は確認されなかった。

当該地は丘陵を削平しているとのことであったため、踏査の際に確認された遺物は、過去に丘陵上に所在した遺跡が削平された際に移動してきたものであると考えられる。

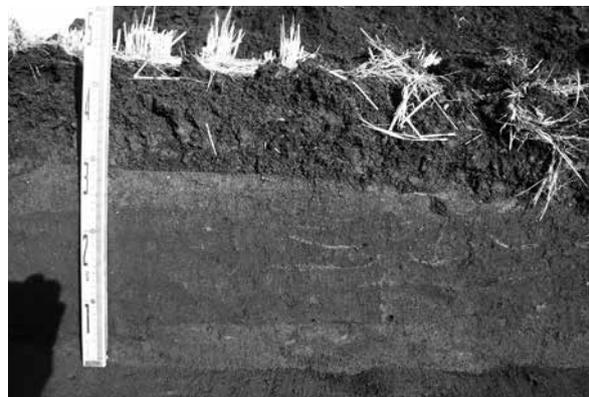
○遺跡可能性地 2

踏査時に縄文土器片を採取したことから、東側に位置する丘陵から続く縄文時代の遺跡を想定して試掘調査を実施した。トレンチを 1 箇所設定し精査したところ、当該地が盛土により造成されたことが確認されたことから、遺跡は所在しないものと判断された。

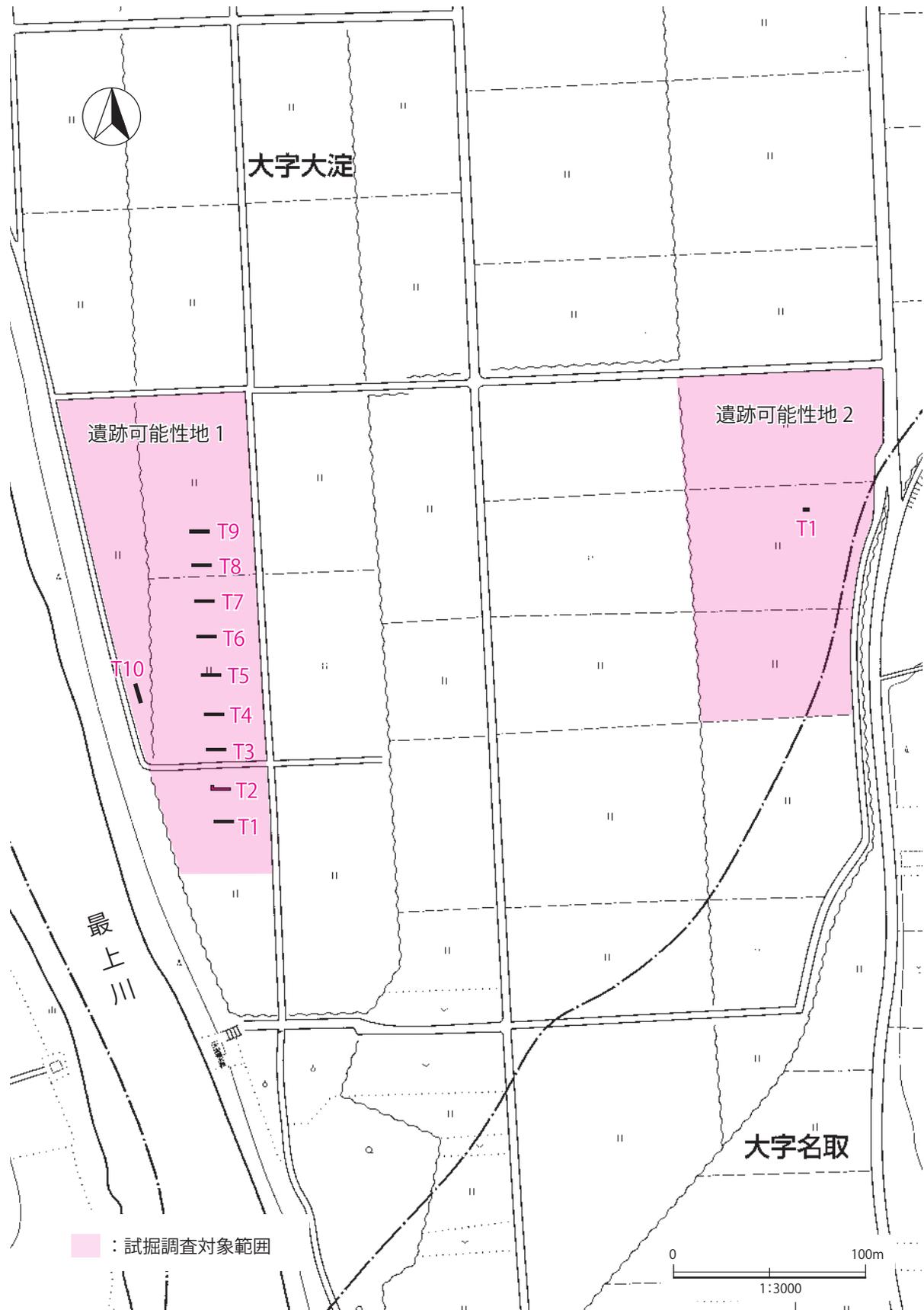
以上の結果から、事業予定地には遺跡は所在しない、あるいは削平されたものと判断された。



遺跡可能性地 1：T 1 全景（西から）



遺跡可能性地 1：T 1 断面（南から）



西郷名取地区遺跡可能性地1・2 トレンチ配置図

II 調査の概要

T1 (cm)

1	-17	1.耕作土
2	-25	2.黒色砂質シルト、暗褐色土が混じる
3	-45	3.黒色シルト
4		4.黒褐色シルト

T6 (cm)

1	-20	1.耕作土
2	-28	2.黒褐色砂質シルト

T2 (cm)

1	-15	1.耕作土
2	-20	2.黒色砂質シルト、一部3層との間に暗褐色土が薄く堆積する
3	-45	3.黒色シルト
4		4.黒褐色シルト

T7 (cm)

1	-13	1.耕作土
2	-28	2.黒色砂質シルト
3		3.黒褐色砂質シルト

T3 (cm)

1	-12	1.耕作土
2	-27	2.黒色砂質シルト
3	-42	3.黒色シルト
4		4.黒褐色シルト

T8 (cm)

1	-17	1.耕作土
2	-35	2.黒褐色砂質シルト、しまり強い

T4 (cm)

1	-17	1.耕作土
2	-19	2.黒色砂質シルト
3	-32	3.黒色シルト
4		4.黒褐色シルト

T9 (cm)

1	-5	1.耕作土
2	-25	2.黒褐色砂質シルト、しまり強い

T5 (cm)

1	-32	1.耕作土
2	-55	2.黒褐色砂質シルト

T10 (cm)

1	-11	1.耕作土
2	-23	2.暗褐色シルト
3	-38	3.黒色砂質シルト、暗褐色土が混じる
4	-53	4.黒色シルト
5		5.黒褐色砂質シルト

西郷名取地区遺跡可能性地1 土層図

T1 (cm)

1	-30	1.耕作土
2	-70	2.暗褐色シルト、黄褐色土・黒色土・礫が混じる（造成土）

西郷名取地区遺跡可能性地2 土層図



遺跡可能性地1：T2全景（西から）



遺跡可能性地1：T2断面（南から）



遺跡可能性地1：T2土色変化(南東から)



遺跡可能性地1：T3全景(西から)



遺跡可能性地1：T5全景(西から)



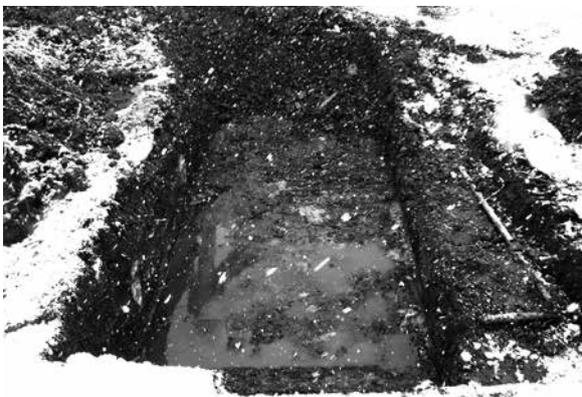
遺跡可能性地1：T5断面(北から)



遺跡可能性地1：T8全景(西から)



遺跡可能性地1：T8断面(北から)



遺跡可能性地2：T1全景(西から)



遺跡可能性地2：T1断面(南から)

II 調査の概要

(2) ^{はつたんのほしほら}八反稻干原遺跡

所在地 山形県村山市河島地内

調査員 稲村圭一 長橋至

調査期日 平成29年10月11日

起因事業 大旦川河川整備補助事業

遺跡立地 標高：80 m、立地：後背湿地、地目：荒蕪地

試掘区 事業予定地内にトレンチ6箇所を設定した。

試掘方法 重機及び人力で試掘調査を実施。

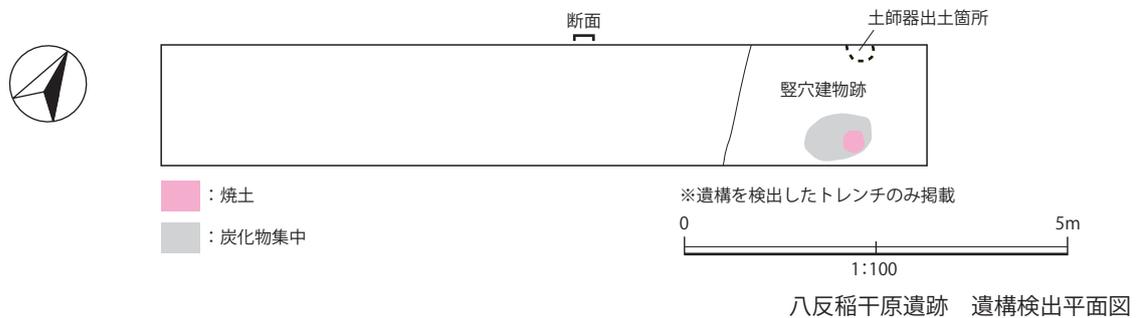
試掘面積 136㎡

検出遺構 なし

出土遺物 竪穴建物跡

時代 縄文時代、平安時代

所見 事業予定地内に6箇所の試掘坑を設定して調査を行ったところ、T5トレンチにおいて平安時代の竪穴建物跡を検出した。遺物は、同トレンチから土師器が一括して出土した。その他のトレンチでは遺構・遺物は確認されなかったことから、事業予定地内においてはT5トレンチを中心として部分的に遺跡が遺存しているものと考えられた。そのため、事業着手時に工事立会を実施予定。また、T5トレンチは現在の八反稻干原遺跡の範囲外に位置するため、今後遺跡範囲の修正を併せて実施予定。



T1 (cm)

1	-18	1.暗褐色シルト (表土)
2		2.にぶい黄褐色シルト
3	-41	3.褐色粘土質シルト

T2 (cm)

1	-25	1.暗褐色シルト (表土)
2		2.灰黄褐色シルト
3	-40	3.暗褐色シルト

T3 (cm)

1	-30	1.暗褐色シルト (表土)
2		2.暗褐色粘土、灰褐色土ブロックを含む

T4 (cm)

1	-20	1.暗褐色シルト (表土)
2		2.盛土
3	-75	3.青灰色細砂

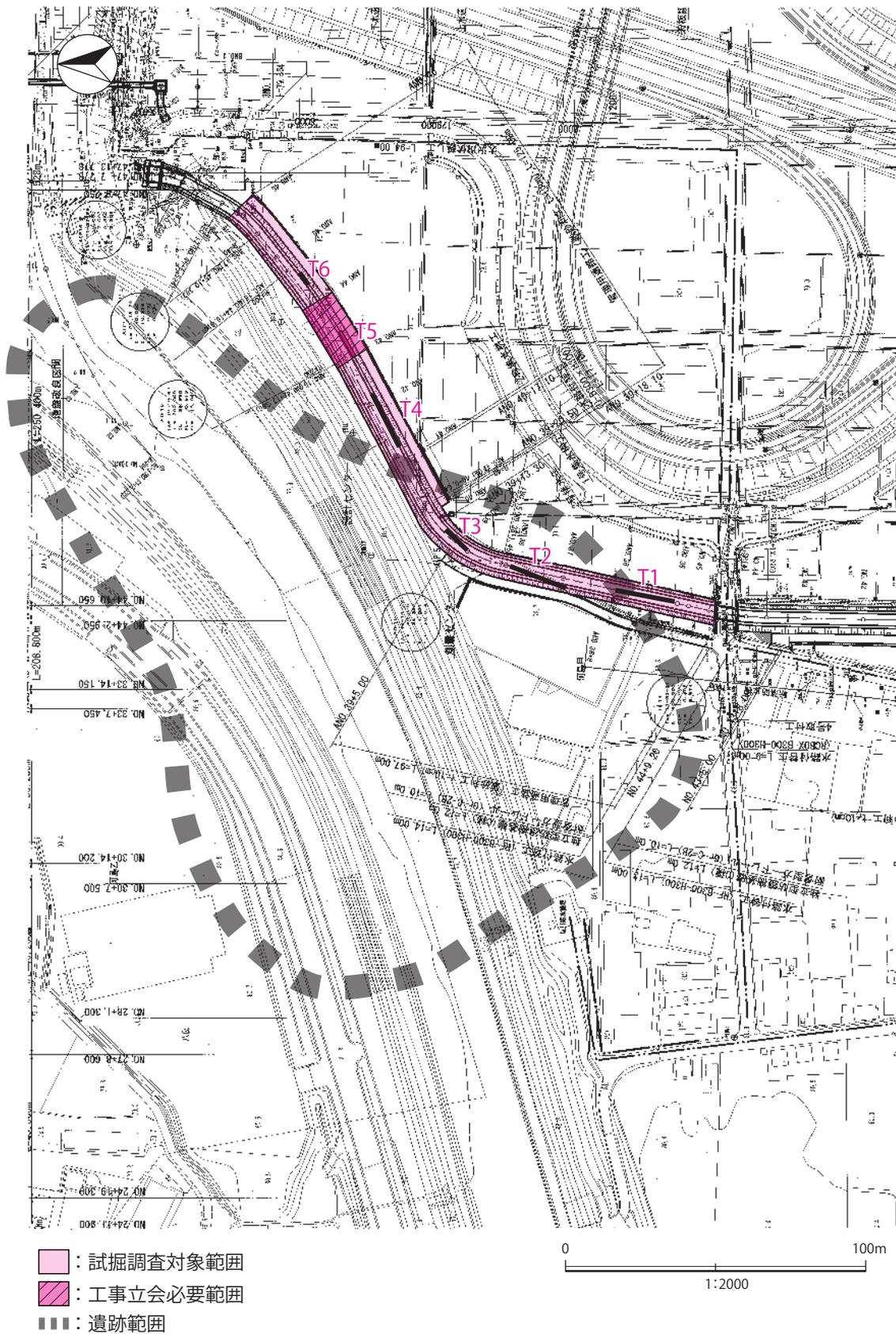
T5 (cm)

1	-25	1.黒褐色シルト (表土)
2		2.褐色粘土質シルト (遺構検出面)

T6 (cm)

1	-20	1.暗褐色シルト (表土)
2		2.盛土
3		-120

八反稻干原遺跡 土層図



八反稻干原遺跡 トレンチ配置図

II 調査の概要



T 1 全景 (南から)



T 1 断面 (東から)



T 3 全景 (南から)



T 3 断面 (東から)



T 5 全景 (南西から)



T 5 断面 (北東から)



T 5 竪穴建物跡検出状況 (南から)



T 5 竪穴建物跡出土遺物

(3) 一般国道 344 号道路改良工事 (安田バイパス) 遺跡可能性地

所在地 山形県酒田市安田

調査員 竹田純子 長橋至

調査期日 平成 29 年 6 月 2 日

起因事業 一般国道 344 号道路改良工事 (安田バイパス)

遺跡立地 標高：約 8 m、立地：沖積地、地目：荒蕪地

試掘区 安田地区の県有地部分に 7 箇所の試掘トレンチを設定した。

試掘方法 重機及び人力で試掘調査を実施。

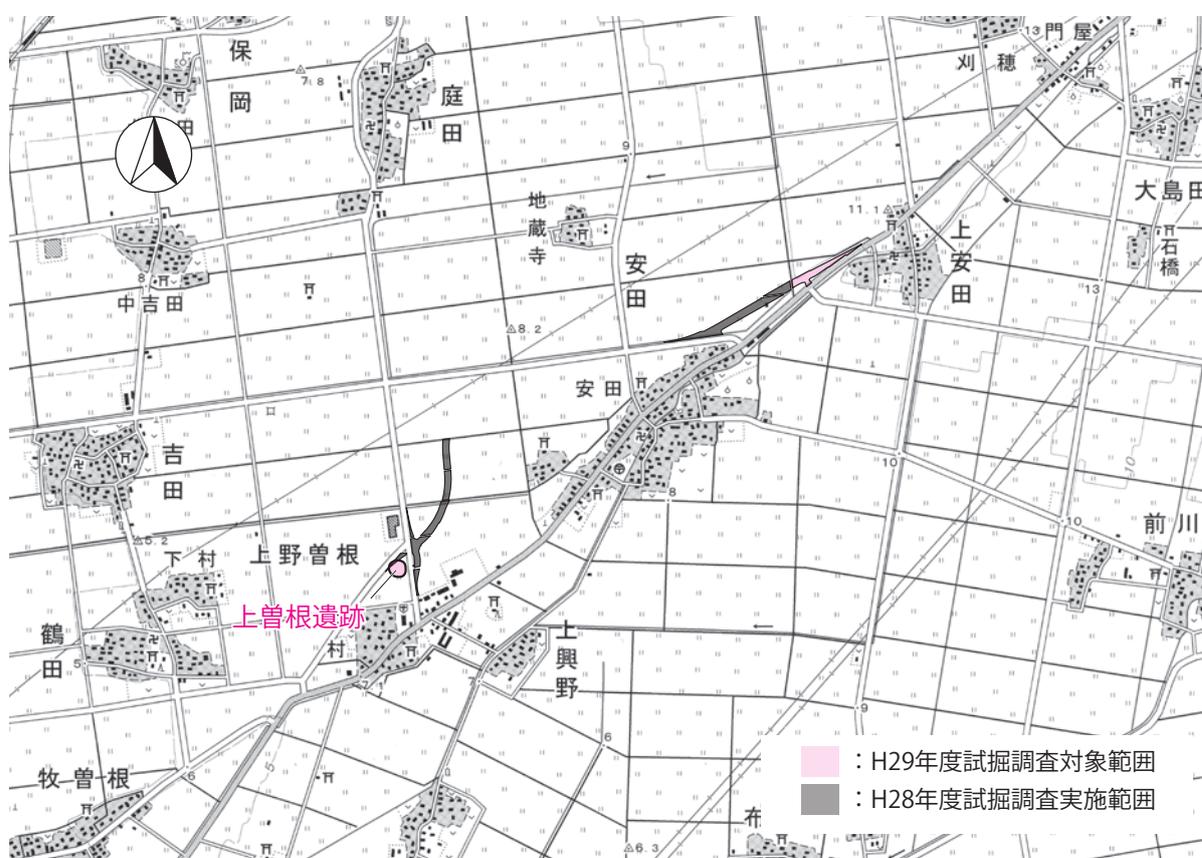
試掘面積 72㎡

検出遺構 なし

出土遺物 なし

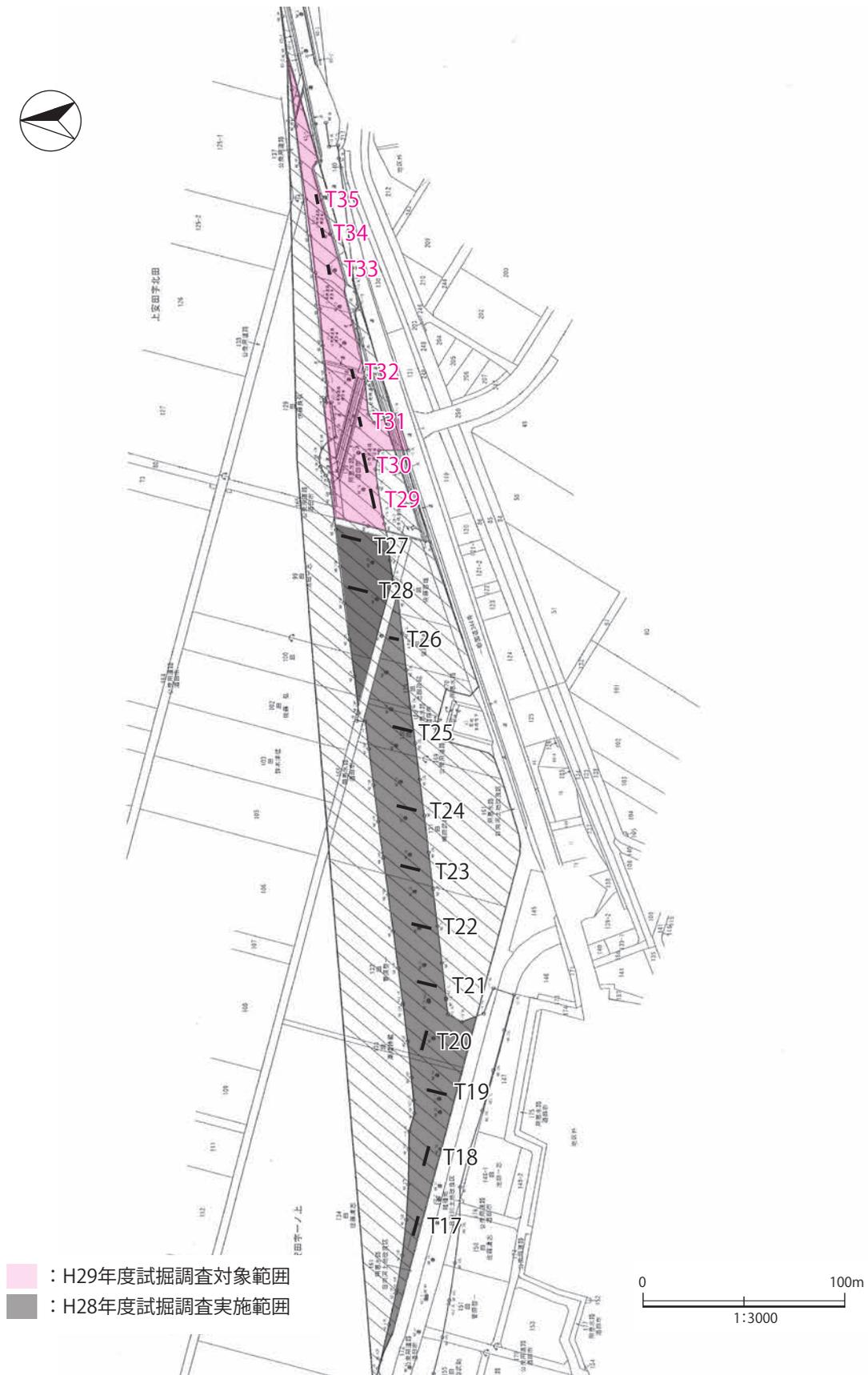
時代 —

所見 当該事業に係る試掘調査は、平成 28 年度に酒田市上野曽根地区と同安田地区の民有地部分について実施しており、平成 29 年度は安田地区の県有地部分について実施した。試掘トレンチは、過去の試掘調査に続きトレンチ 29 から設定し、トレンチ 35 までの 7 本について調査を行った。その結果、いずれのトレンチにおいても遺構・遺物は確認されなかったため、当地に遺跡は所在しないものと判断された。



一般国道 344 号道路改良工事に係る試掘調査箇所 (S=1/25,000)

II 調査の概要



一般国道 344 号道路改良工事（安田バイパス）遺跡可能性地 トレンチ配置図

T29 (cm)

1	-55	1. 暗褐色砂質シルト、礫を含む (客土)
2	-65	2. 褐灰色砂質シルト、礫を含む (客土)
3	-105	3. 黒褐色砂
4	-145	4. 青灰色粘土
5		5. 青灰色砂

T30 (cm)

1	-70	1. 暗褐色砂質シルト、礫を含む (客土)
2	-80	2. 褐灰色砂質シルト、礫を含む (客土)
3	-117	3. 黒褐色砂
4	-145	4. 青灰色粘土
5	-155	5. 青灰色砂

T31 (cm)

1	-73	1. 暗褐色砂質シルト、礫を含む (客土)
2	-77	2. 褐灰色砂質シルト、礫を含む (客土)
3	-125	3. 黒褐色砂
4	-165	4. 青灰色粘土
5		5. 青灰色砂

T32 (cm)

1	-95	1. 暗褐色砂質シルト、礫を含む (客土)
2	-115	2. 褐灰色砂質シルト、礫を含む (客土)
3	-215	3. 黒褐色砂
4		4. 青灰色粘土

T33 (cm)

1	-20	1. 耕作土
2	-40	2. 暗褐色粘土質シルト
3	-60	3. 青灰色粘土
4	-70	4. 青灰色砂

T34 (cm)

1	-20	1. 耕作土
2	-45	2. 暗褐色粘土質シルト
3	-68	3. 青灰色粘土
4	-80	4. 青灰色砂

T35 (cm)

1	-30	1. 暗褐色粘土質シルト
2	-50	2. 暗褐色粘土
3	-60	3. 灰色粘土
4	-70	4. 青灰色粘土
5	-90	5. 青灰色砂

一般国道 344 号道路改良工事 (安田バイパス) 遺跡可能性地 土層図



T 29 全景 (東から)



T 31 全景 (西から)



T 35 全景 (西から)



T 33 断面 (南から)

II 調査の概要

(4) 藤島城跡

所在地 山形県鶴岡市藤島字古館跡 221

調査員 竹田純子 長橋至

調査期日 平成 29 年 10 月 3 日

起因事業 庄内農業高等学校ライスセンター改築工事

遺跡立地 標高：12 m、立地：自然堤防、地目：学校用地

試掘区 事業予定地に 4 箇所の試掘トレンチを設定した。

試掘方法 重機及び人力で試掘調査を実施。

試掘面積 48㎡

検出遺構 土坑・柱穴

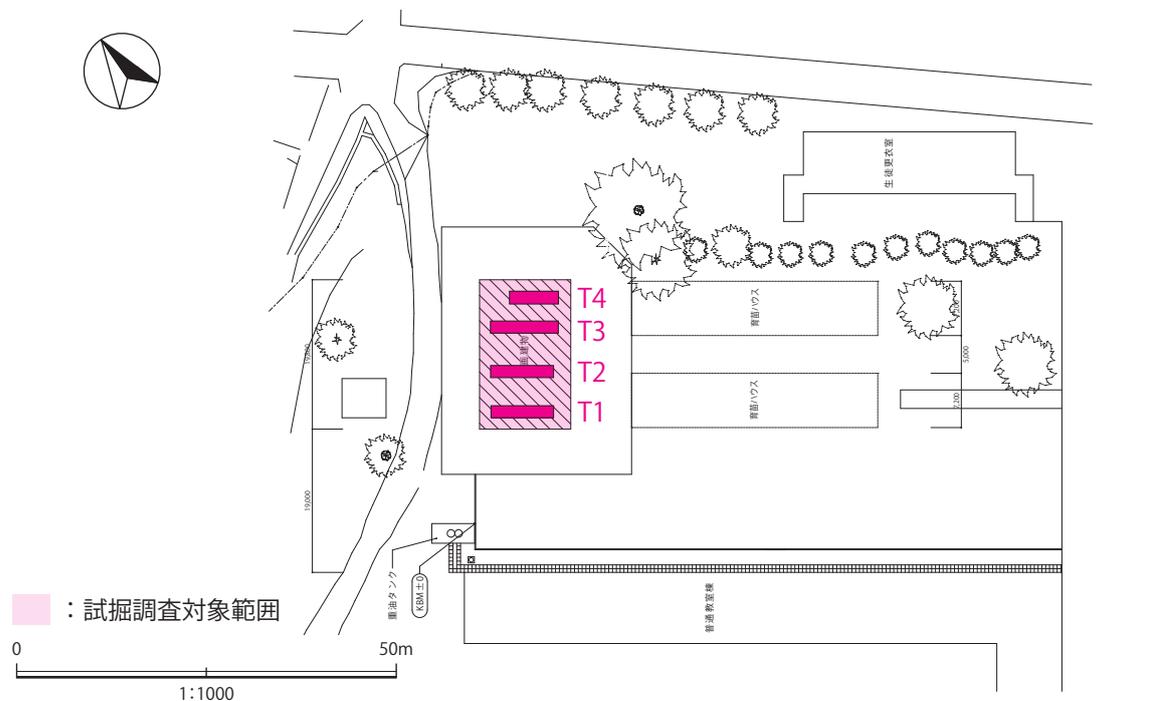
出土遺物 青磁片等

時代 中世

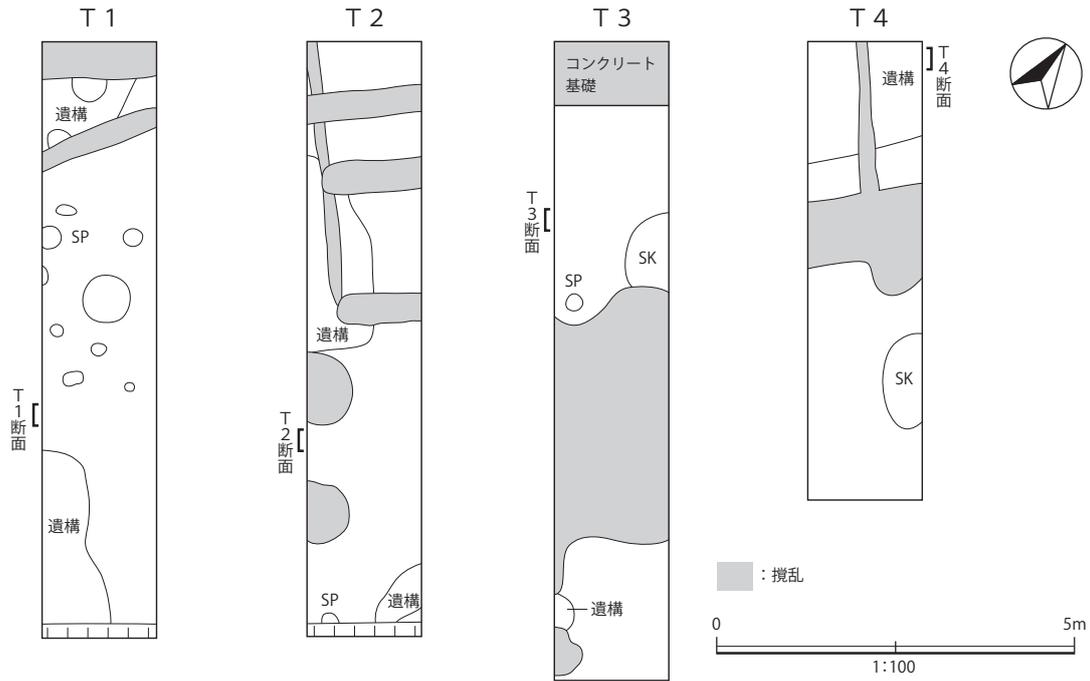
所見 藤島城跡ではこれまでに山形県教育委員会及び(公財)山形県埋蔵文化財センターによって 6 回の発掘調査が実施されている。

事業予定地内に 4 箇所のトレンチを設定し、試掘調査を実施した。当該地は現在更地となっているが、過去に校舎等の施設が存在しており、それらの施設の基礎等による掘削や攪乱が部分的に認められたものの、すべてのトレンチにおいて土坑・柱穴等の遺構が確認された。遺物は青磁片等の陶磁器が出土した。

調査の結果、部分的に攪乱を受けているものの、藤島城跡に関する遺構・遺物が存在することが確認されたため、平成 30 年度に発掘調査を実施予定。



藤島城跡 トレンチ配置図



藤島城跡 遺構検出平面図

T1 (cm)

1	15	1. 表土
2	30	2. 浅黄色砂、黄灰色シルトブロックを含む (盛土)
3		3. にぶい黄褐色砂

T3 (cm)

1	20	1. 表土
2	40	2. 褐灰色シルト、礫を含む (客土)
3		3. にぶい黄褐色砂

T2 (cm)

1	20	1. 表土
2	40	2. 浅黄色砂 (客土)
3		3. にぶい黄褐色砂

T4 (cm)

1	20	1. 表土
2	30	2. 黄灰色シルト、礫を含む (客土)
3	50	3. 褐灰色シルト、礫を含む (盛土)
4		4. 褐灰色シルト、炭を含む (遺構覆土)

藤島城跡 土層図



T1 全景 (西から)



T1 遺構検出状況 (北から)

II 調査の概要



T 1 断面 (北から)



T 2 全景 (西から)



T 2 断面 (北から)



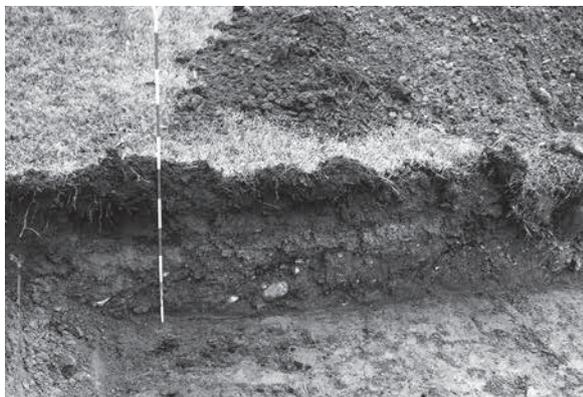
T 3 全景 (南東から)



T 3 断面 (北から)



T 4 全景 (南東から)



T 4 断面 (北から)



藤島城跡出土遺物

(5) ^{やわたいち}八幡一遺跡

所在地 山形県川西町大字西大塚字八幡ほか

調査員 稲村圭一 岩崎恒平

調査期日 平成 29 年 9 月 1 日

起因事業 一般国道 113 号梨郷道路事業

遺跡立地 標高：210 m、立地：段丘、後背低湿地、地目：宅地、荒蕪地

試掘区 事業予定地に 3 箇所の試掘トレンチを設定した。

試掘方法 重機及び人力で試掘調査を実施。

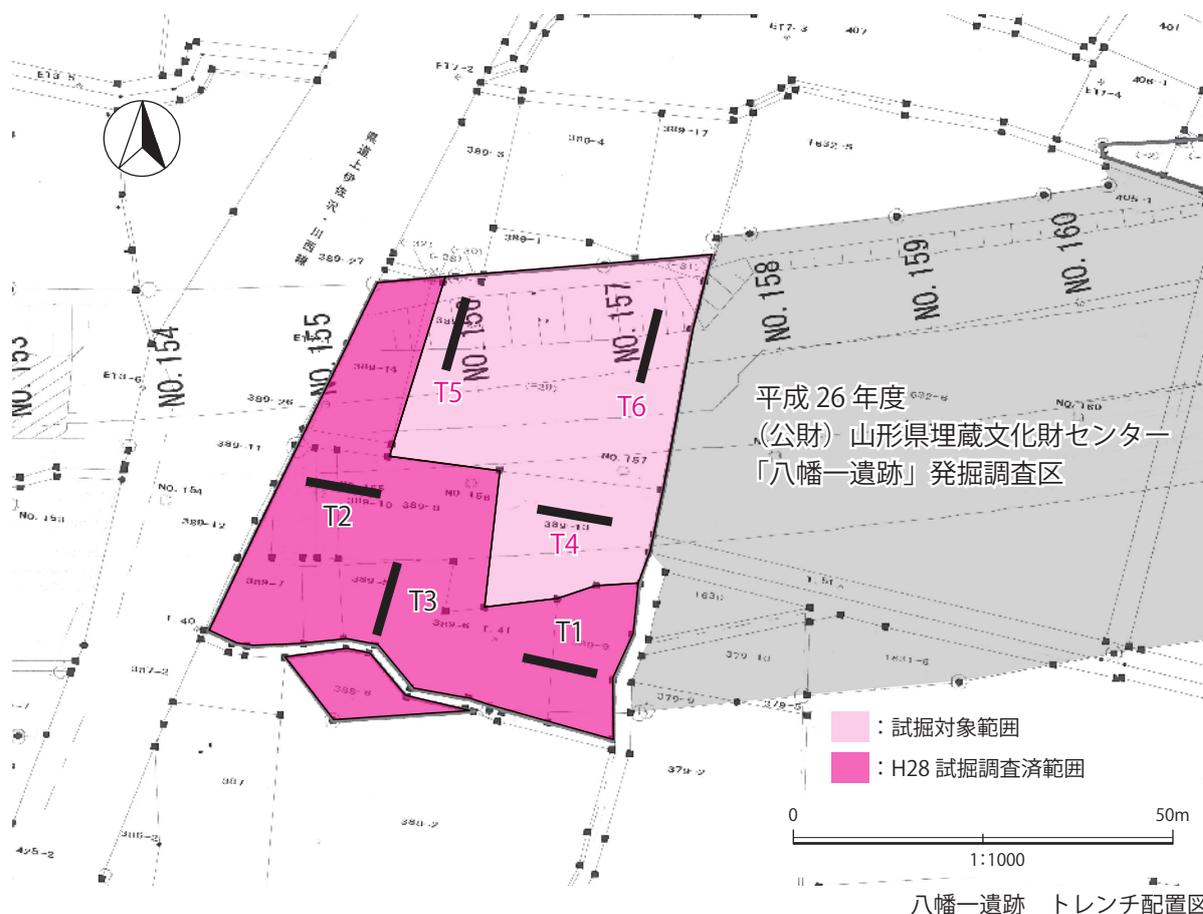
試掘面積 35㎡

検出遺構 なし

出土遺物 土師器片 1 点

時代 奈良・平安時代、中世

所見 事業予定地に 3 箇所の試掘トレンチを設定して調査を行った。平成 26 年度に（公財）山形県埋蔵文化財センターが実施した発掘調査で検出した旧河道の延長部分を T 4・T 6 で検出したが、遺物を包含する層は確認されなかった。T 5 では表土直下で基盤層に達し、地盤の造成が認められた。周辺に遺構が残存する可能性は低いものと判断された。



II 調査の概要

T4 (cm)

1	-25	1.黒褐色シルト（耕作土）
2	-35	2.黒褐色シルト、酸化鉄を含む
3	-45	3.黒色シルト
4	-70	4.灰白色粘土、灰色粘土・酸化鉄を含む
5	-120	5.褐灰色粘土、未分解の有機物を含む
6		6.灰白色粘土質シルト、細砂・酸化鉄を含む

T5 (cm)

1	-30	1.黒褐色シルト（耕作土）
2	-45	2.灰白色粘土、灰色粘土・酸化鉄を含む

T6 (cm)

1	-20	1.黒褐色シルト（耕作土）
2	-30	2.黒色シルト
3	-55	3.灰白色粘土、灰色粘土・酸化鉄を含む
4	-80	4.褐灰色粘土、未分解の有機物を含む
5	-90	5.灰白色粘土質シルト、細砂・酸化鉄を含む

八幡一遺跡 土層図



T4全景（西から）



T4断面（東から）



T5全景（北東から）



T5断面（南から）



T6全景（北から）



T6断面（南から）

(6) 一般国道 113 号梨郷道路 遺跡可能性地 1

所在地 山形県川西町大字西大塚字菊田

調査員 竹田純子 長橋至

調査期日 平成 29 年 11 月 13 日

起因事業 一般国道 113 号梨郷道路事業

遺跡立地 標高：211 m、立地：泥炭地、地目：田

試掘区 事業予定地に 7 箇所の試掘トレンチを設定した。

試掘方法 重機及び人力で試掘調査を実施。

試掘面積 104m²

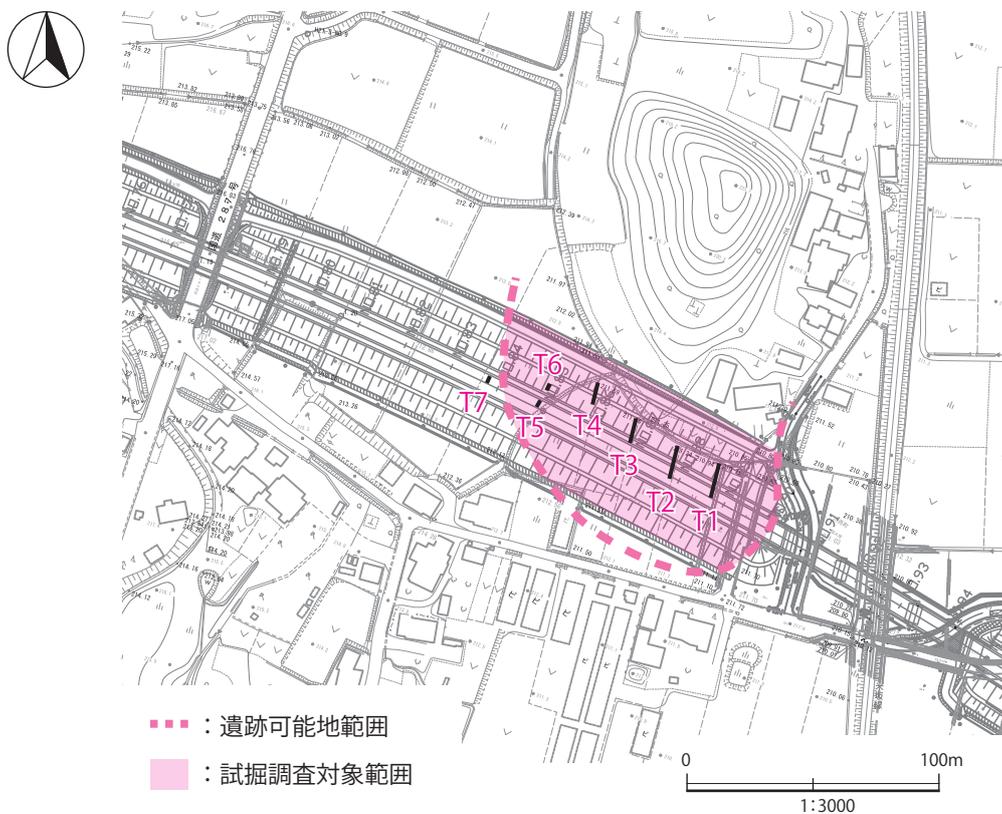
検出遺構 なし

出土遺物 なし

時代 —

所見 遺跡可能性地 1 に 7 箇所のトレンチを設定し、試掘調査を実施した。調査の結果、いずれのトレンチでも遺構・遺物は確認されなかった。トレンチの土層断面等から、当該地の北側の水田部分は掘削を受け、南側の道路センター側では 1 m 以上の泥炭層となることが確認された。

以上の結果から、当地に遺跡は所在しないものと判断された。



遺跡可能性地 1 トレンチ配置図

II 調査の概要

T1 北 (cm)

1	-17	1. 褐灰色シルト
2		2. 灰白色粘土 (地山)

T1 南 (cm)

1	-15	1. 褐灰色シルト
2		2. 褐灰色粘質シルト
3	-30	3. 黒色粘土
4	-55	4. 褐灰色泥炭層

T2 (cm)

1	-35	1. 褐灰色シルト
2		2. 褐灰色粘質シルト
3	-45	3. 黒色粘土
4	-75	4. 褐灰色泥炭層

T3 (cm)

1	-30	1. 褐灰色シルト
2		2. 褐灰色粘質シルト
3	-40	3. 黒褐色粘質シルト
4	-50	4. 黒色粘土
5	-85	5. 褐灰色泥炭層

T4 (cm)

1	-45	1. 褐灰色シルト
2		2. 褐灰色粘質シルト
3	-55	3. 黒色粘土
4	-65	4. 褐灰色泥炭層

T5 (cm)

1	-10	1. 褐灰色シルト
2		2. 褐灰色、灰白色、黒色土が混じる
3	-30	3. 灰色粘質シルト
4	-45	4. 灰白色粘質シルト、酸化鉄を含む
5	-60	5. 褐灰色泥炭層

T6 (cm)

1	-10	1. 褐灰色シルト
2		2. 褐灰色、灰白色、黒色土が混じる
3	-20	3. 灰色粘質シルト
4	-35	4. 褐灰色泥炭層

T7 (cm)

1	-10	1. 褐灰色シルト
2		2. 褐灰色シルト
3	-20	3. 灰色粘質シルト
4	-45	4. 黒色粘土
5	-105	5. 褐灰色泥炭層

遺跡可能性地 1 土層図



T1 全景 (南から)



T1 断面 (東から)



T4 全景 (南から)



T4 全景 (南から)

(7) 一般国道7号遊佐象潟道路 遺跡可能性地 (野田遺跡東側)

所在地 山形県遊佐町当山

調査員 竹田純子 稲村圭一 長橋至

調査期日 平成29年11月16・17日

起因事業 一般国道7号遊佐象潟道路 (日沿道 遊佐～吹浦)

遺跡立地 標高：約3.5m、立地：沖積地、地目：田

試掘区 事業予定地に29箇所の試掘トレンチを設定した。

試掘方法 重機及び人力で試掘調査を実施。

試掘面積 456㎡

検出遺構 なし

出土遺物 なし

時代 -

所見 当該地は平成29年7月6日に実施した踏査により、平安時代の須恵器・土師器片を採取したため、遺跡可能性地として試掘調査を実施した。当該地の東側には、平成29年度に(公財)山形県埋蔵文化財センターが発掘調査を実施した野田遺跡が位置していることから、遺跡範囲が東側に広がる可能性や、関連する別の遺跡が存在する可能性を想定して試掘調査を行った。

遺跡可能性地内に29箇所のトレンチを設定して試掘調査を実施したところ、いずれのトレンチにおいても遺構・遺物は確認されなかった。踏査時に採取された遺物は過去のほ場整備等によって運ばれたものと考えられ、当地に遺跡は存在しないものと判断された。

T1 (cm)

1	-10	1. 暗褐色シルト (耕作土)
2	-17	2. 暗褐色シルト
3	-35	3. 黒褐色粘土質シルト
4	-55	4. 褐灰色砂質シルト
5		5. 褐灰色粘土質シルト

T13 (cm)

1	-12	1. 暗褐色シルト (耕作土)
2	-27	2. 暗褐色シルト
3	-57	3. 黒褐色粘土質シルト
4	-72	4. 褐灰色砂質シルト
5		5. 褐灰色粘土質シルト

T5 (cm)

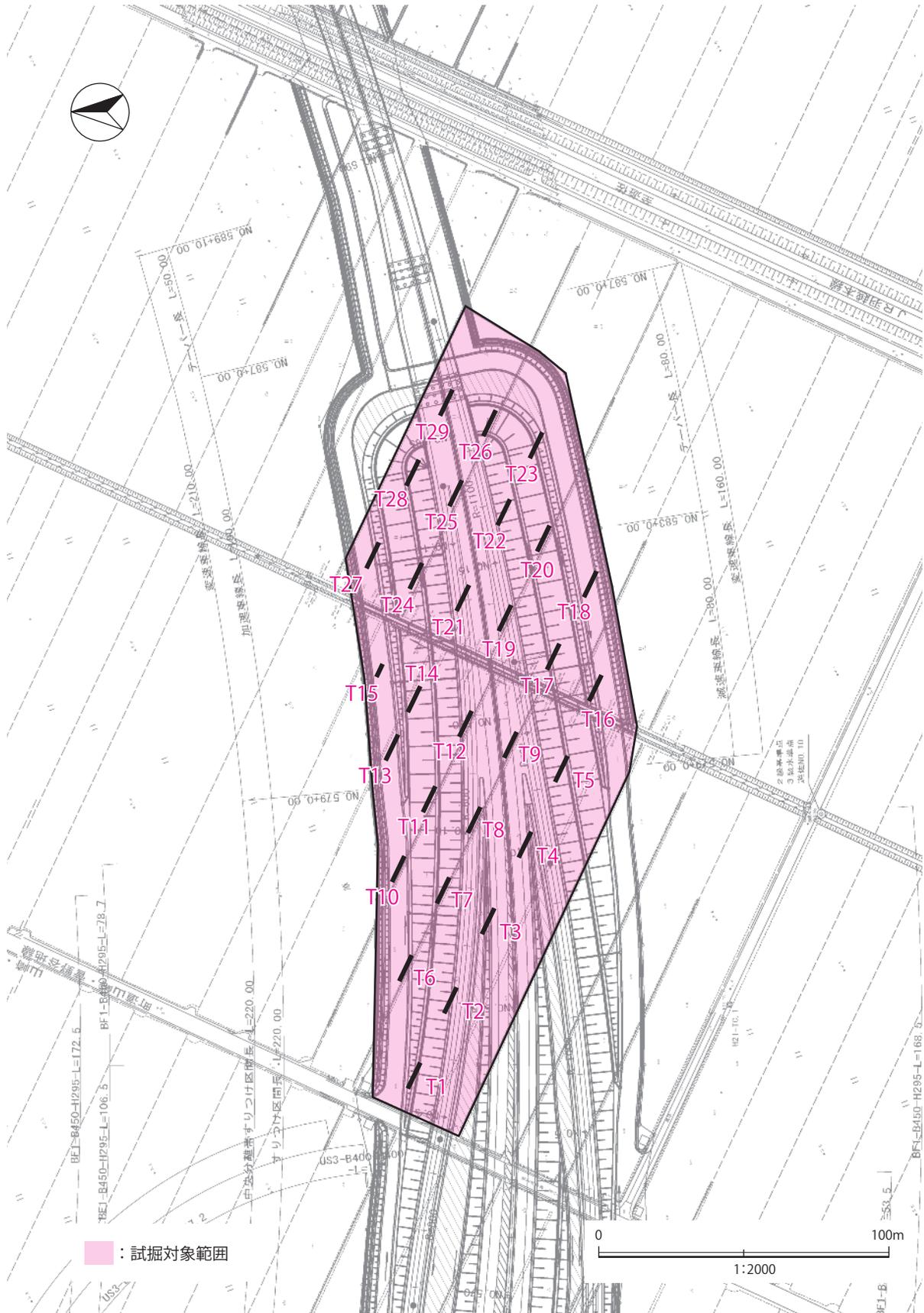
1	-3	1. 暗褐色シルト (耕作土)
2	-18	2. 褐色シルト
3	-29	3. 灰色粘土質シルト
4	-48	4. 黒褐灰粘質シルト
5	-56	5. 褐灰色砂質シルト

T29 (cm)

1	-10	1. 暗褐色シルト (耕作土)
2	-35	2. 暗褐色シルト
3	-50	3. 黒褐色粘土質シルト
4		4. 褐灰色粘土質シルト

一般国道7号遊佐象潟道路遺跡可能性地 土層図

II 調査の概要



一般国道7号遊佐象潟道路遺跡可能性地 トレンチ配置図



T 1 全景 (北西から)



T 1 断面 (南東から)



T 5 全景 (北西から)



T 5 断面 (南から)



T 13 全景 (北西から)



T 13 断面 (北東から)



T 29 全景 (北西から)



T 29 断面 (南東から)

II 調査の概要

(8) 早田^{わさだ}C遺跡

所在地 山形県鶴岡市大岩川

調査員 竹田純子 長橋至

調査期日 平成29年12月8日

起因事業 一般国道7号朝日温海道路（日沿道 朝日～温海）

遺跡立地 標高：27 m、立地：山麓、地目：田、畑

試掘区 事業予定地に2箇所の試掘トレンチを設定した。

試掘方法 重機及び人力で試掘調査を実施。

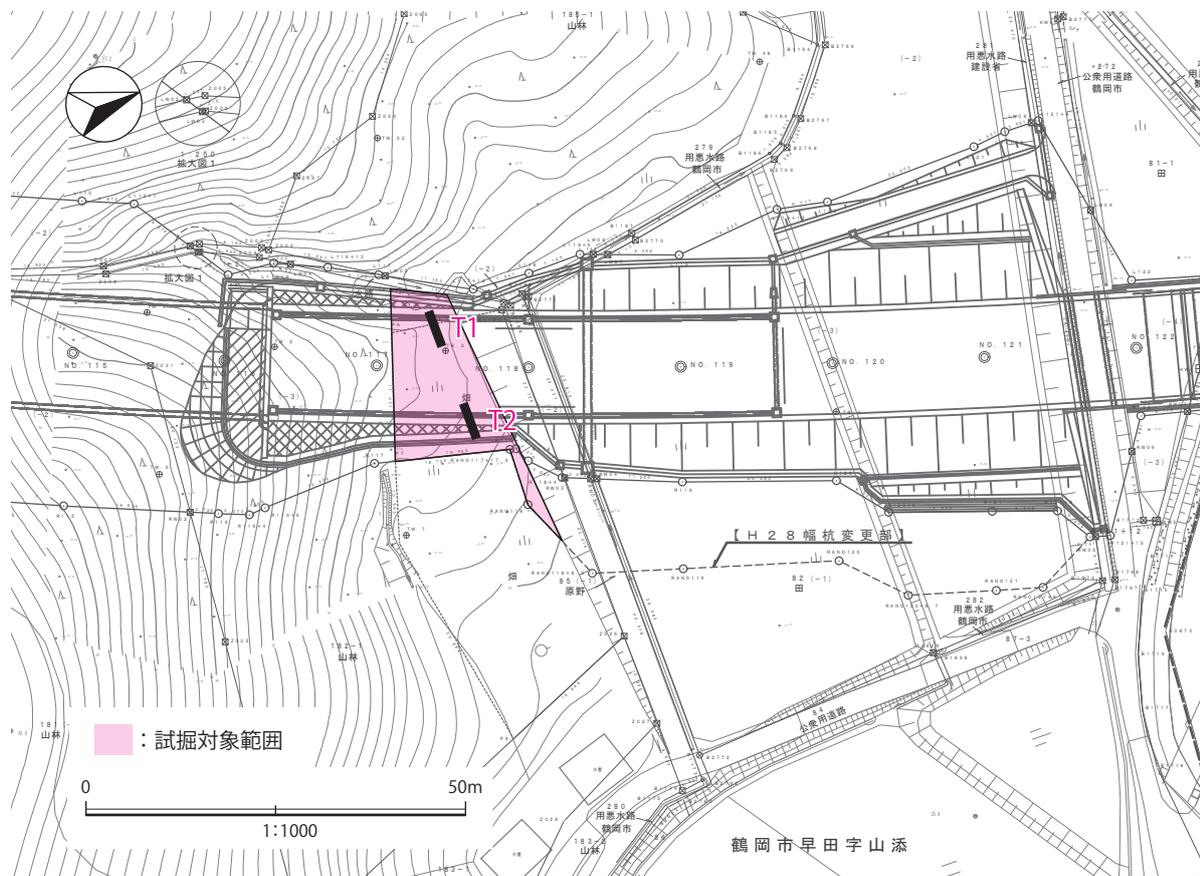
試掘面積 12m²

検出遺構 なし

出土遺物 なし

時代 縄文時代

所見 遺跡範囲に該当する事業地のうち南側は水田造成時に削平されていることから、北側の畑地部分を対象として試掘調査を実施した。2箇所のトレンチを設定して精査したところ、表土下約15cmで地山層が確認され、いずれのトレンチにおいても遺構・遺物は確認されなかった。少なくとも今回の試掘調査範囲内においては、早田C遺跡に関連する遺構は存在しないものと考えられる。



早田C遺跡 トレンチ配置図

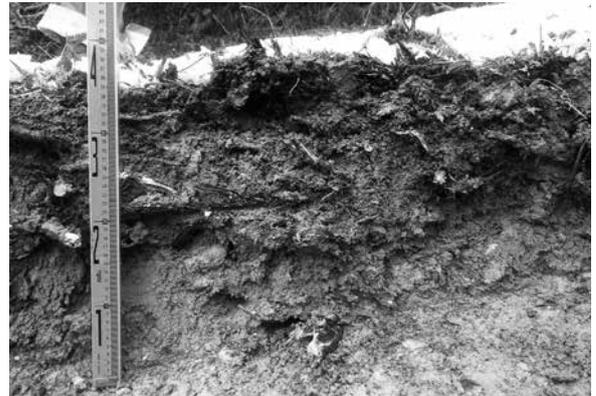
T1 (cm)		
1	-15	1.黒褐色シルト(表土)
2	-35	2.明黄褐色シルト

T2 (cm)		
1	-15	1.黒褐色シルト(表土)
2	-35	2.明黄褐色シルト

早田C遺跡 土層図



T 1 全景 (西から)



T 1 断面 (北から)



T 2 全景 (西から)



T 2 断面 (北から)



作業状況



作業状況

(9) 一般国道7号朝日温海道路 遺跡可能性地

所在地 山形県鶴岡市鼠ヶ関字奥田

調査員 竹田純子

調査期日 平成30年3月22日

起因事業 一般国道7号朝日温海道路（日沿道 朝日～温海）

遺跡立地 標高：約8m、立地：段丘、地目：田

試掘区 事業予定地に3箇所の試掘トレンチを設定した。

試掘方法 重機及び人力で試掘調査を実施。

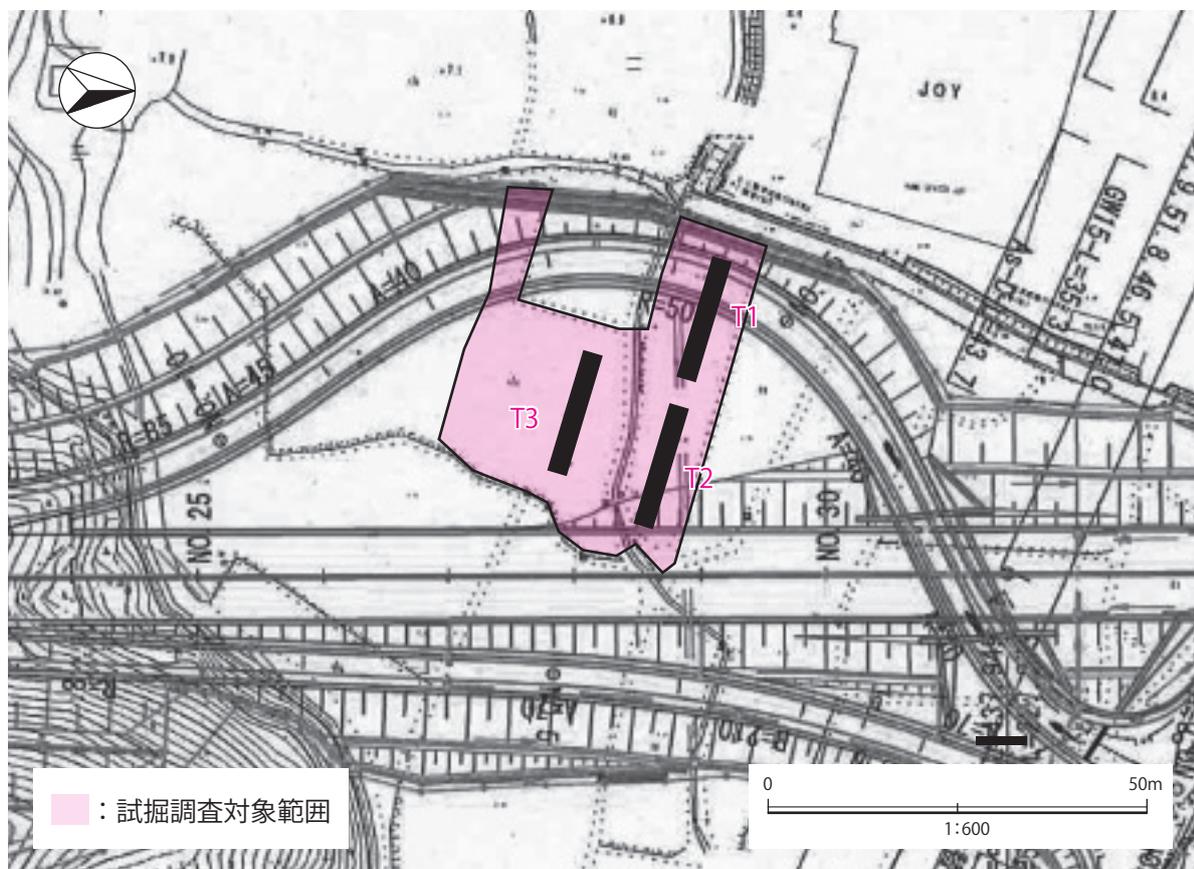
試掘面積 48㎡

検出遺構 なし

出土遺物 なし

時代 —

所見 当地は国道345号線南側の平坦地で、国道345号線を挟んだ北側には鼠ヶ関川が流れている。トレンチを3箇所設定し、遺構の有無を確認したところ、いずれのトレンチも、砂礫層が確認された。平成19年に実施された鶴岡市教育委員会による隣接地の試掘調査においても同様の結果が得られていることから、一帯は鼠ヶ関川の旧流路と考えられ、当地に遺跡は所在しないものと判断された。



一般国道7号朝日温海道路 遺跡可能性地 トレンチ配置図

T1 (cm)

1	-20	1.表土(旧耕作土)
2	-30	2.青灰色砂、礫が混じる(客土)
3	-38	3.灰白色細砂
4	-40	4.灰色砂、植物を含む
5	-55	5.灰白色砂
6	-85	6.黄褐色砂、φ20cm程度の礫を含む

T2 (cm)

1	-15	1.耕作土
2	-25	2.褐灰色シルト、砂を含む、しまり強い
3	-37	3.褐灰色シルト、礫を含む
4	-43	4.褐灰色粘質土、礫・砂を含む
5	-55	5.にぶい黄橙色砂

T3 (cm)

1	-10	1.耕作土
2	-24	2.褐灰色シルト、砂を含む、しまり強い
3	-40	3.褐灰色シルト、礫を含む
4	-50	4.褐灰色粘質土、礫・砂を含む
5		5.にぶい黄橙色砂

一般国道7号朝日温海道路 遺跡可能性地 土層図



T 2 全景 (西から)



T 2 断面 (南から)



T 3 全景 (西から)



T 3 断面 (北から)

(10) ^{かわまえ}川前2遺跡

所在地 山形県山形市中野目

調査員 稲村圭一 長橋至 岩崎恒平

調査期日 平成 29 年 9 月 12 日

起因事業 最上川上流河川改修事業（須川地区）

遺跡立地 標高：93 m、立地：自然堤防、地目：荒蕪地

試掘区 事業予定地に 5 箇所を試掘トレンチを設定した。

試掘方法 重機及び人力で試掘調査を実施。

試掘面積 126㎡

検出遺構 竪穴建物跡、土坑、ピット、溝状遺構

出土遺物 須恵器片、土師器片

時代 奈良・平安時代

所見 事業予定地東側は過去の河川改修事業に伴い、平成 14・15 年及び平成 19・20 年に（公財）山形県埋蔵文化財センターが発掘調査を実施している。

事業予定地内に試掘坑を 5 箇所設定して調査を行った結果、T 1～T 4 トレンチにおいて竪穴建物跡・土坑・溝状遺構などの遺構が検出され、併せて同範囲から古墳～奈良・平安時代の須恵器・土師器片が出土した。

T 1～3 トレンチでは古墳時代の検出面で遺構・遺物が確認されたが、T 4 トレンチでは表土直下で奈良・平安時代の竪穴建物跡を検出した。過去の発掘調査結果を見ると奈良・平安時代の遺構面の下層に、古墳時代の遺構面が存在することが明らかとなっている。事業予定地内においても、少なくとも T 4 トレンチ周辺には、奈良・平安時代の遺構面の下層に、古墳時代の遺構面が存在するものと考えられる。

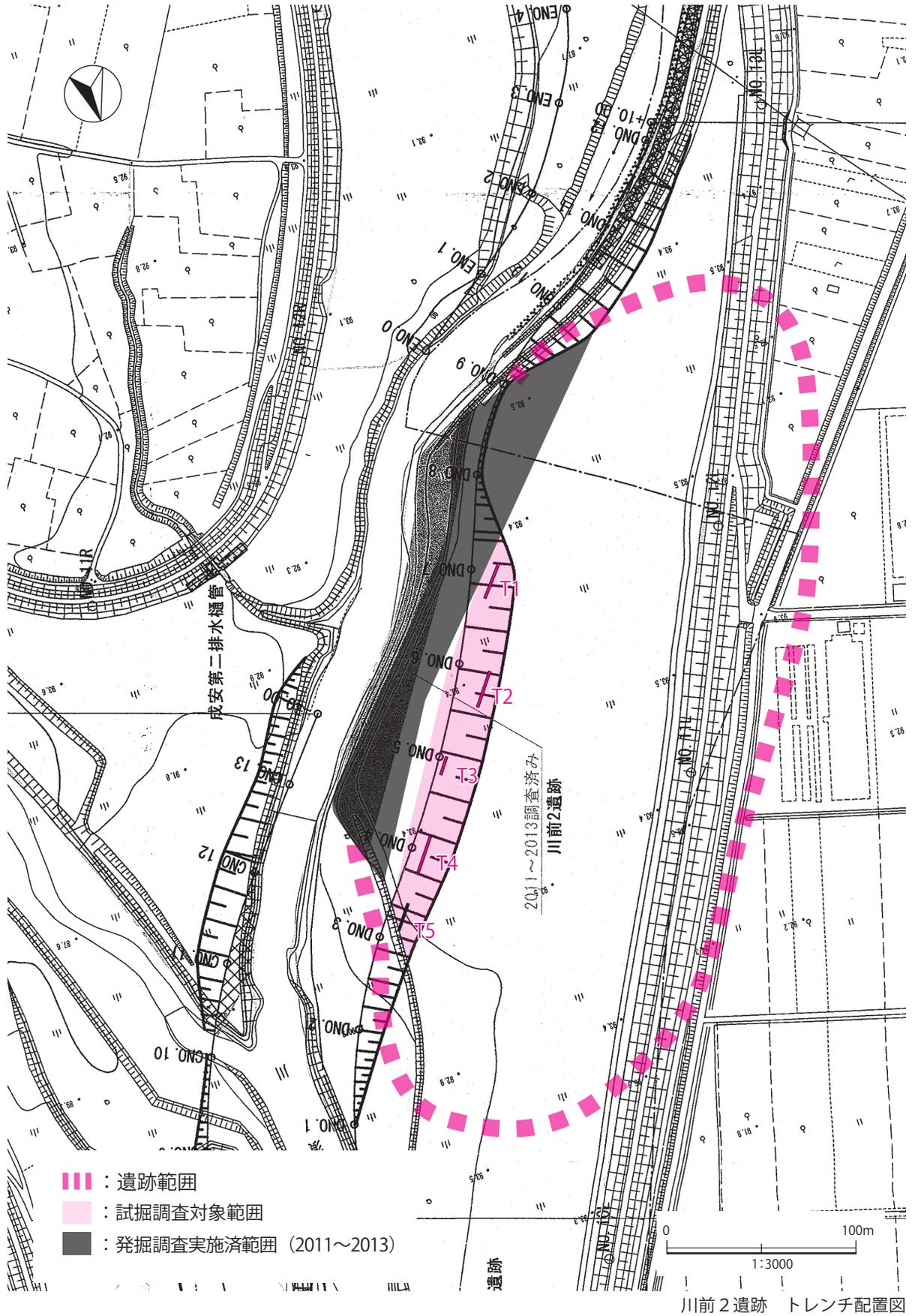
今回試掘調査を実施した遺跡内の事業予定地については、T 1～T 4 トレンチの範囲で、遺構・遺物が検出された。過去の調査結果をみると、事業予定地東側では全体的に遺構が検出され、事業予定地への広がりが見られる。そのため、平成 30 年度に事業予定地区内全体を対象として発掘調査を実施予定。



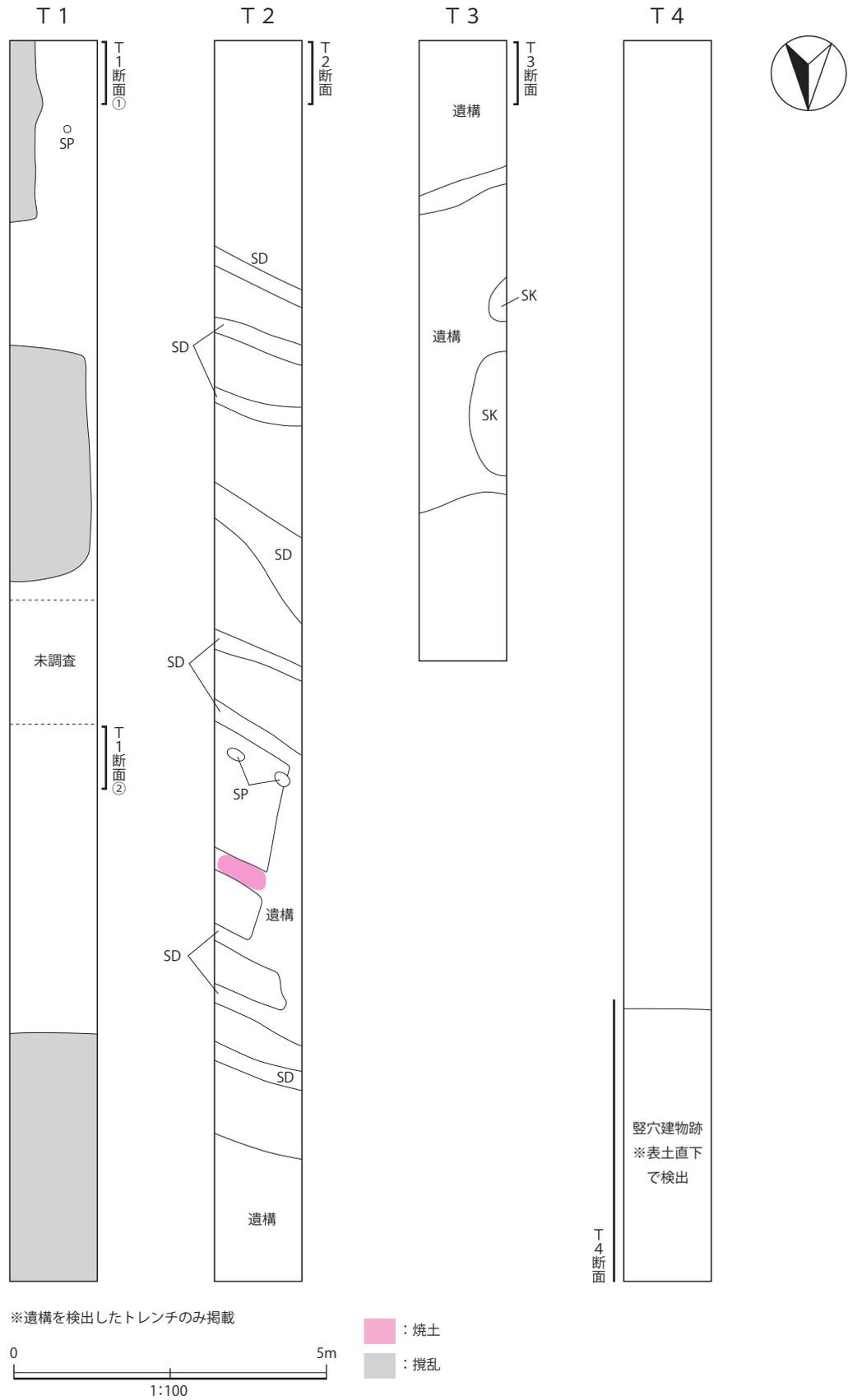
T 1 南側全景（南から）



T 1 南側断面（東から）



II 調査の概要



川前2遺跡 遺構検出平面図

T1① (cm)

1	-10	1. 黒褐色シルト (表土)
2	-35	2. にぶい黄褐色シルト
3	-50	3. 灰黄褐色シルト、にぶい黄橙色土を帯状に含む
4	-75	4. 黒褐色シルト、遺物を含む
5		5. 灰黄褐色砂質シルト

T3 (cm)

1	-50	1. 造成土
2	-65	2. 黒褐色シルト
3	-80	3. にぶい黄褐色シルト
4	-135	4. 暗褐色粘土質シルト、遺物を含む

T1② (cm)

1	-15	1. 黒褐色シルト (表土)
2	-35	2. にぶい黄褐色シルト
3	-65	3. 黒褐色シルト、灰黄褐色シルトを含む
4		4. 灰黄褐色砂質シルト

T4 (cm)

1	-30	1. 暗褐色シルト (表土)
2	-85	2. 褐色砂質シルト (上面で竪穴建物跡検出)
3	-100	3. 黒色粘土質シルト
4	-120	4. 黄褐色粘土質シルト

T2 (cm)

1	-20	1. 暗褐色シルト
2	-40	2. 黄褐色シルト
3	-65	3. 褐色灰シルト
4	-85	4. 灰黄褐色粘土質シルト
5	-100	5. 黒褐色粘土質シルト
6		6. にぶい黄褐色粘土質シルト

T5 (cm)

1	-40	1. 暗褐色シルト (表土)
2	-60	2. 褐色砂質シルト
3	-80	3. 黒色粘土質シルト、 上層ににぶい黄色土を帯状に含む
4		4. 褐色粘土質シルト

川前2遺跡 土層図



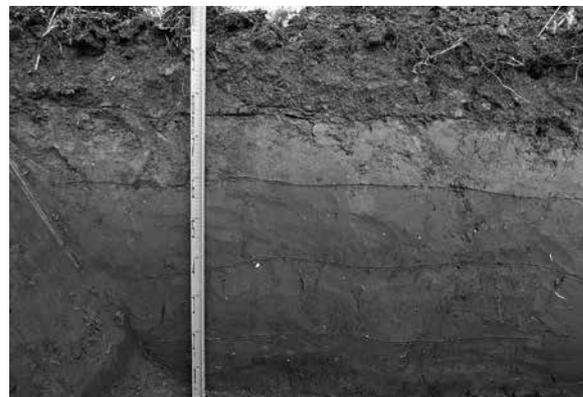
T 1 北側全景 (南から)



T 1 北側断面 (東から)



T 2 全景 (南から)



T 2 断面 (東から)

II 調査の概要



T 2 遺構検出状況 (南東から)



T 2 遺構検出状況 (南東から)



T 3 全景 (南から)



T 3 断面 (東から)



T 3 遺構検出状況 (北東から)



T 4 全景 (北から)



T 4 断面 (南西から)



T 4 竪穴建物跡断面 (西から)



T 4 竪穴建物跡遺物出土状況 (南から)



T 5 全景 (南から)



T 5 断面 (東から)



作業状況



T 1 出土遺物



T 2 出土遺物



T 3 出土遺物



T 4 出土遺物

II 調査の概要

(11) ^{なかのめ}中野目Ⅱ遺跡

所在地 山形県山形市中野目

調査員 竹田純子 稲村圭一 長橋至

調査期日 平成29年9月15日

起因事業 最上川上流河川改修事業（須川地区）

遺跡立地 標高：93 m、立地：自然堤防、地目：荒蕪地

試掘区 事業予定地に4箇所の試掘トレンチを設定した。

試掘方法 重機及び人力で試掘調査を実施。

試掘面積 98㎡

検出遺構 柱穴、土坑、溝状遺構

出土遺物 須恵器片、土師器片

時代 奈良・平安時代

所見 事業予定地内に4箇所の試掘トレンチを設定した。調査の結果、T1トレンチからT3トレンチにかけて遺構・遺物を確認した。遺構はT1・T2トレンチにおいて建物跡を構成する柱穴やT3トレンチにおいて土坑等を検出した。遺物は、T1からT2にかけて広がる遺物包含層から土師器・須恵器片が出土した。T4トレンチ付近は河川堆積土が厚く堆積しており、遺構・遺物は確認されなかった。

今回試掘調査を実施した範囲のうち、T1～T3トレンチの範囲で、奈良・平安時代の遺構・遺物が検出された。T1及びT3トレンチの一部の範囲については、現在の中野目Ⅱ遺跡の範囲外となるため、今後遺跡の範囲修正を行う。併せて、事業予定地区のうち、範囲修正後の遺跡範囲内となる箇所を対象として平成30年度に発掘調査を実施予定。

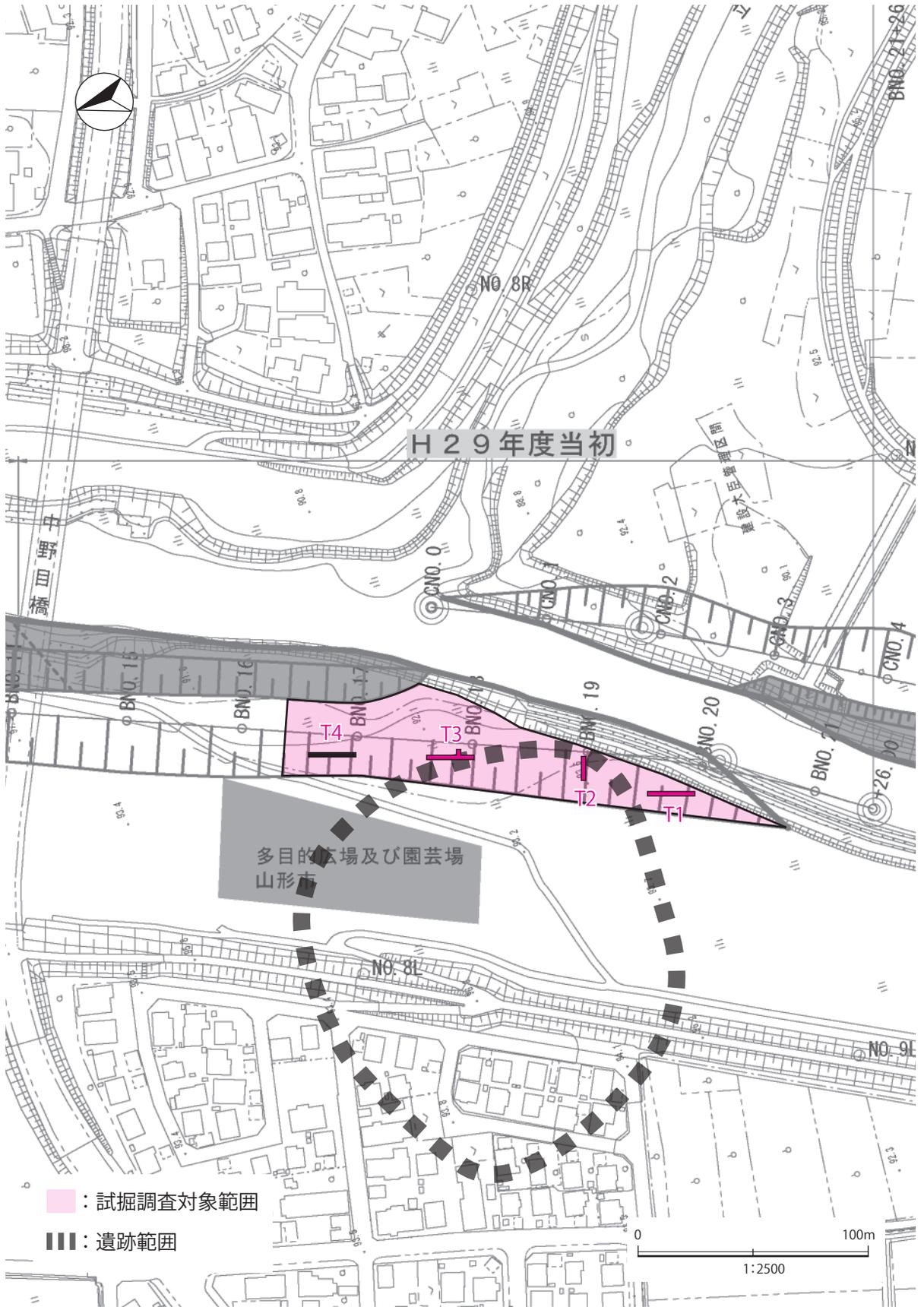
T1 (cm)		
1		1.黒褐色シルト（表土）
2	-30	2.にぶい黄褐色シルト、砂を少量含む
3	-90	3.灰黄褐色砂
4	-120	4.褐灰色粘土質シルト、炭化物を少量含む
5	-145	5.黒褐色粘土質シルト、古代の遺物を含む
6	-175	6.褐色粘土質シルト

T3 (cm)		
1		1.黒褐色シルト（表土）
2	-50	2.褐灰色粘土質シルト

T2 (cm)		
1		1.黒褐色シルト（表土）
2	-30	2.にぶい黄褐色シルト、砂を少量含む
3	-90	3.灰黄褐色シルト、褐色シルトブロックを含む
4	-110	4.黒褐色粘土質シルト、古代の遺物を含む
5	-135	5.褐色粘土質シルト

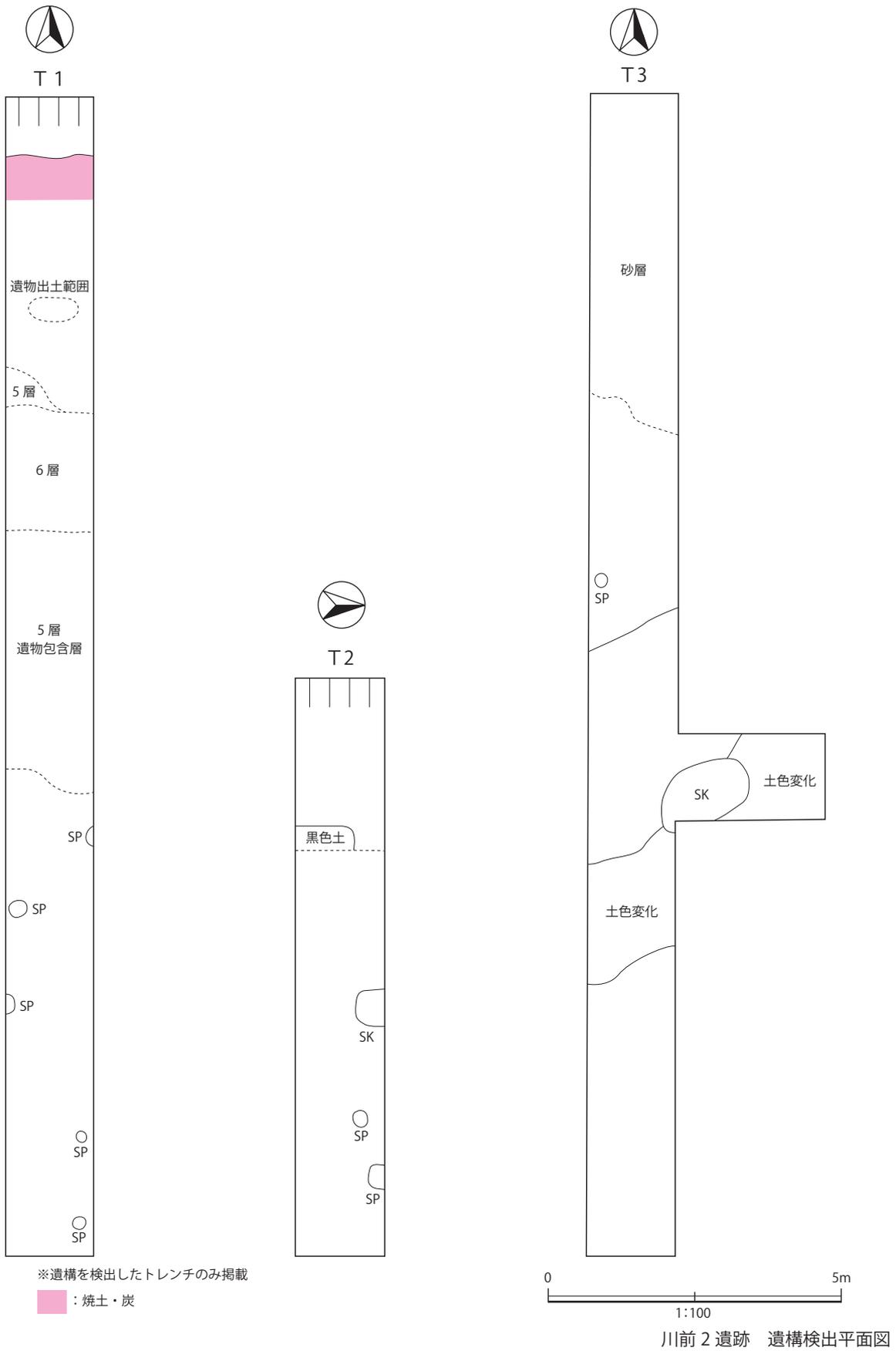
T4 (cm)		
1		1.黒褐色シルト（表土）
2	-20	2.にぶい黄褐色砂
3	-70	4.灰黄褐色砂
	-85	

中野目Ⅱ遺跡 土層図



中野目II遺跡 トレンチ配置図

II 調査の概要





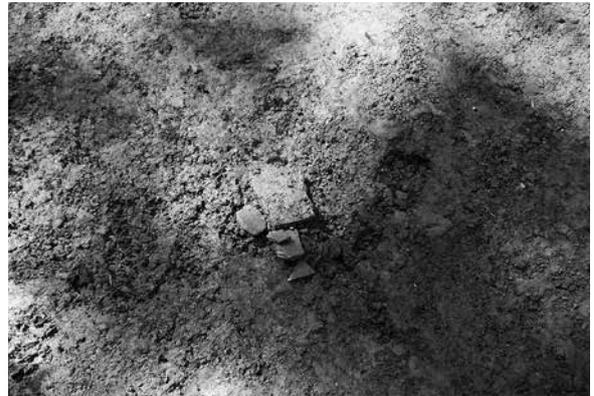
T 1 全景 (南から)



T 1 断面 (東から)



T 1 遺物包含層 (北東から)



T 1 遺物包含層の遺物出土状況 (南から)



T 2 全景 (西から)



T 2 断面 (南から)



T 2 遺構検出状況 (南西から)



T 2 遺構検出状況 (南西から)

II 調査の概要



T 3 全景 (南から)



T 3 断面 (西から)



T 3 遺構検出状況 (南西から)



T 3 遺構検出状況 (西から)



T 4 全景 (北から)



T 4 断面 (南から)



T 1 出土遺物



T 2 出土遺物

(12) 最上川上流河川改修事業糠野目地区 遺跡可能性地

所在地 山形県高島町上平柳

調査員 竹田純子 長橋至

調査期日 平成 29 年 12 月 15 日・22 日

起回事業 最上川上流河川改修事業（糠野目地区）

遺跡立地 標高：215 m、立地：自然堤防、地目：荒蕪地

試掘区 事業予定地に 6 箇所を試掘トレンチを設定した。

試掘方法 重機及び人力で試掘調査を実施。

試掘面積 96m²

検出遺構 遺物包含層

出土遺物 土師器片

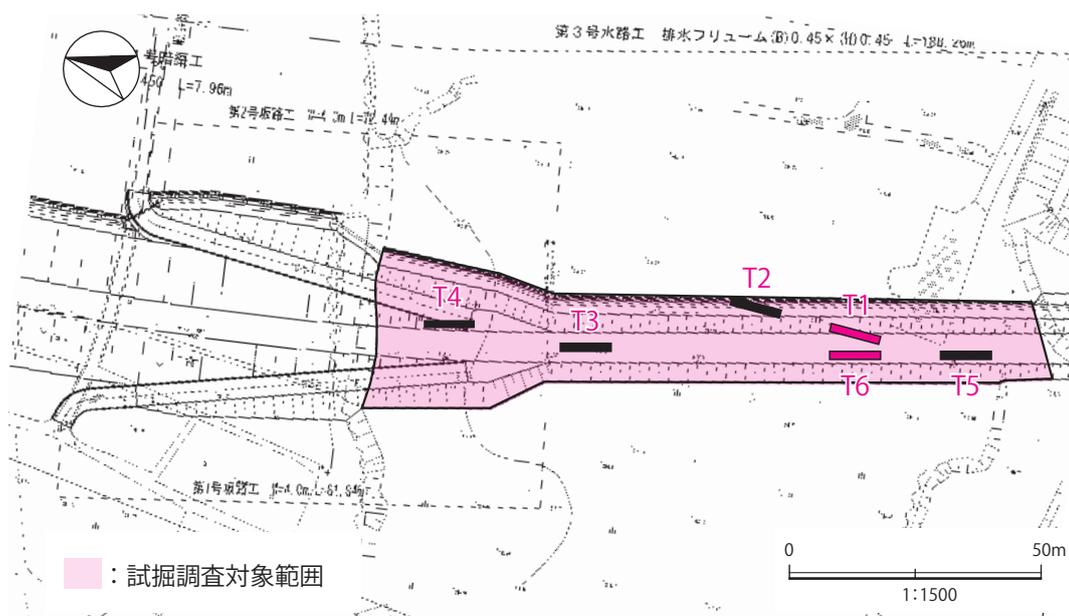
時代 —

所見 当該地は平成 28・29 年度に実施した踏査の結果、遺構・遺物は確認されなかったものの、事業予定地南部にあたる自然堤防上に遺跡が存在する可能性があることから、「遺跡可能性地」として試掘調査を実施したもの。

トレンチ 1 の南側において遺物包含層を確認した。遺物包含層から土師器片が出土したため、トレンチ 1 の西側にトレンチ 6 を設定し、遺物包含層の広がりを確認した。その結果、トレンチ 1 遺物の包含層と同じ土層を確認したものの遺物は含まれなかった。

トレンチ 2～5 では、遺構・遺物は確認されなかった。また、トレンチ 4～6 では、過去の土地利用による攪乱が確認された。

調査の結果、遺物包含層を確認したものの、その広がり確認できなかった。当地周辺に遺跡が存在する可能性があるが、事業予定地内に遺跡は存在しないものと考えられる。



糠野目地区 トレンチ配置図

II 調査の概要

T1 (cm)

1	-20	1.客土 (碎石等)
2	-30	2.客土 (灰白色土、黄褐色土、 黒色土が混じる)
3	-38	3.黒褐色シルト
4	-50	4.暗褐色シルト、にぶい黄褐色土、 遺物を含む (遺物包含層)

T4 (cm)

1	-7	1.表土
2	-18	2.客土 (礫含む)
3	-37	3.客土 (灰白色土、黄褐色土、 黒色土が混じる)
4	-62	4. にぶい黄褐色シルト
5		

T2 (cm)

1	-4	1.表土
2	-24	2.客土 (礫含む)
3	-52	3.暗褐色シルト
4		4. にぶい黄褐色シルト

T5 (cm)

1	-10	1.表土
2	-35	2.客土 (暗褐色土)
3	-60	3.客土 (灰白色土)

T3 (cm)

1	-10	1.表土
2	-30	2.客土 (礫含む)
3	-75	3.暗褐色シルト
4	-85	4. にぶい黄褐色シルト

T6 (cm)

1	-5	1.表土
2	-28	2.客土 (にぶい黄色土)
3	-32	3.黒褐色シルト (4層との境に遺物 を含む)
4	-40	4.黄褐色シルト
5	-60	5.暗褐色シルト (T1の遺物包含層)

最上川上流河川改修事業糠野目地区 (遺跡可能性地) 土層図



T 1 全景 (北から)



T 1 断面 (西から)



T 1 遺物出土状況



T 3 全景 (南から)



T 3 断面 (西から)



T 4 全景 (北から)



T 4 断面 (西から)



T 5 全景 (南から)



T 5 断面 (西から)



T 6 全景 (南から)



T 6 断面 (西から)



T 1 出土遺物

第三章 遺跡の登録、修正と訂正

1 範囲修正、位置訂正

平成 29 年度に範囲修正、名称変更及び位置訂正を行った遺跡は 13 件であり、いずれも市教育委員会及び県教育庁からの届出によるものである。内訳は範囲修正が 6 件（表中 1～6）、位置訂正が 7 件（7～13）である。詳細については、新規登録の遺跡と併せて、次項に「平成 29 年度範囲修正・位置訂正遺跡一覧」として掲載した。

2 新規登録

平成 29 年度に新規登録された遺跡は 32 件あり（14～45）、いずれも市教育委員会及び県教育庁からの届出によるものである。

これにより、年度末までに登録されている遺跡は 5,192 件を数える事になった。

なお、現在「山形県遺跡地図」（県 WebPage 掲載）の「市町村の遺跡一覧」に修正履歴や調査履歴などを掲載する改善作業を行なっている。

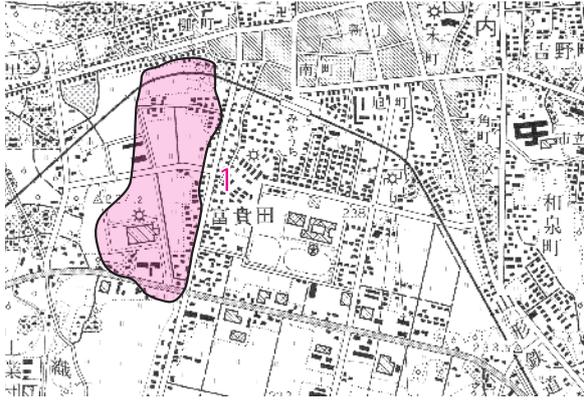
平成 29 年度範囲修正・位置訂正遺跡一覧

区分	No.	遺跡名 (番号)	所在地	種別	時期	通知文書他	届出者	地図名
範囲 修正	1	富貴田遺跡 (213-003)	南陽市	集落跡	縄文時代、奈良 時代(国分寺下 層式併行)	2017年2月27日南教社 発第496号南陽市教委	南陽市教 委	赤湯
	2	山居沢山A遺跡 (213-009)	南陽市	散布地	平安時代	2017年2月27日南教社 発第496号南陽市教委	南陽市教 委	赤湯
	3	野田遺跡 (461-210)	遊佐町	集落跡	奈良・平安時代	2017年8月1日文生第 1489号山形県教委	山形県教 委	吹浦
	4	六田楯跡 (211-044)	東根市	城館跡	中世	2017年10月4日東教委 生発第218号東根市教委	東根市教 委	楯岡
	5	津谷遺跡 (367-041)	戸沢村	集落跡	旧石器時代、縄 文時代	2017年11月1日文生第 1327号山形県教委。	山形県教 委	古口
	6	向名高遺跡 (367-046)	戸沢村	集落跡	縄文時代	2017年11月1日文生第 1327号山形県教委。	山形県教 委	古口
位置 訂正	7	赤松山館跡 (213-021)	南陽市	城館跡		2017年2月27日南教社 発第496号南陽市教委	南陽市教 委	羽前小松
	8	割田館跡 (213-092)	南陽市	城館跡		2017年2月27日南教社 発第496号南陽市教委	南陽市教 委	羽前小松
	9	東畑B遺跡 (213-127)	南陽市	散布地	平安時代	2017年2月27日南教社 発第496号南陽市教委	南陽市教 委	赤湯

区分	No.	遺跡名 (番号)	所在地	種別	時期	通知文書他	届出者	地図名
位置 訂正	10	梨郷南館跡 (213-153)	南陽市	城館跡		2017年2月27日南教社 発第496号南陽市教委	南陽市教委	羽前小松
	11	片岸館跡 (213-162)	南陽市	城館跡		2017年2月27日南教社 発第496号南陽市教委	南陽市教委	羽前小松
	12	梨郷小館跡 (213-189)	南陽市	城館跡		2017年2月27日南教社 発第496号南陽市教委	南陽市教委	羽前小松
	13	峠野山館跡 (441-022)	鶴岡市	城館跡		2018年3月22日鶴教社 発第446号鶴岡市教委	鶴岡市教委	山五十川
新規 登録	14	北ノ沢山遺跡 (213-243)	南陽市	散布地	縄文時代、奈良・ 平安時代	2017年2月17日南教社 発第470号南陽市教委	南陽市教委	赤湯
	15	芹ヶ窪遺跡 (213-244)	南陽市	散布地	縄文時代、平安 時代	2017年2月17日南教社 発第470号南陽市教委	南陽市教委	羽前小松
	16	山居沢山D遺跡 (213-245)	南陽市	散布地	平安時代	2017年2月17日南教社 発第470号南陽市教委	南陽市教委	赤湯
	17	山居沢山E遺跡 (213-246)	南陽市	散布地	平安時代	2017年2月17日南教社 発第470号南陽市教委	南陽市教委	赤湯
	18	東唐越館跡 (213-247)	南陽市	城館跡	中世	2017年2月17日南教社 発第470号南陽市教委	南陽市教委	赤湯
	19	斎藤館跡 (213-248)	南陽市	城館跡	中世	2017年2月17日南教社 発第470号南陽市教委	南陽市教委	赤湯
	20	俎柳館跡 (213-249)	南陽市	城館跡	中世	2017年2月17日南教社 発第470号南陽市教委	南陽市教委	赤湯
	21	馬場遺跡 (213-250)	南陽市	馬場跡	中世	2017年2月17日南教社 発第470号南陽市教委	南陽市教委	赤湯
	22	久根崎遺跡 (213-251)	南陽市	集落跡	縄文時代(中期)	2017年2月17日南教社 発第470号南陽市教委	南陽市教委	赤湯
	23	桜田遺跡 (213-252)	南陽市	集落跡	平安時代	2017年2月17日南教社 発第470号南陽市教委	南陽市教委	赤湯
	24	木之実小屋遺跡 (213-253)	南陽市	散布地	縄文時代、奈良・ 平安時代	2017年2月17日南教社 発第470号南陽市教委	南陽市教委	赤湯
	25	東弁天遺跡 (213-254)	南陽市	散布地	縄文時代	2017年2月17日南教社 発第470号南陽市教委	南陽市教委	赤湯
	26	西田中遺跡 (213-255)	南陽市	散布地	縄文時代(中期)	2017年2月17日南教社 発第470号南陽市教委	南陽市教委	羽前小松
27	猫子前遺跡 (213-256)	南陽市	散布地	縄文時代、奈良・ 平安時代	2017年2月17日南教社 発第470号南陽市教委	南陽市教委	赤湯	

Ⅲ 遺跡の登録、修正と訂正

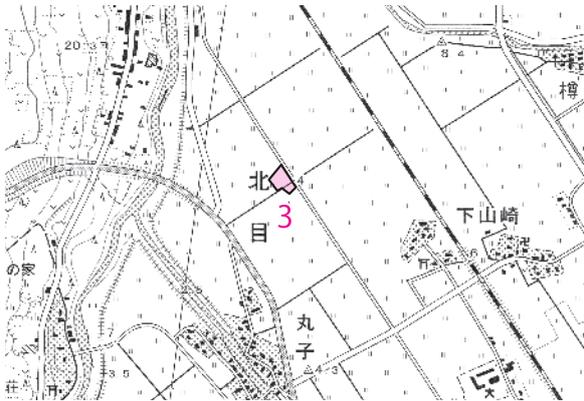
区分	No.	遺跡名 (番号)	所在地	種別	時期	通知文書他	届出者	地図名
新規 登録	28	南須刈田遺跡 (213-257)	南陽市	散布地	縄文時代	2017年2月17日南教社 発第470号南陽市教委	南陽市教 委	長井
	29	七拾苅遺跡 (213-258)	南陽市	散布地	奈良・平安時代	2017年2月17日南教社 発第470号南陽市教委	南陽市教 委	羽前小松
	30	二本木遺跡 (213-259)	南陽市	散布地	奈良・平安時代	2017年2月17日南教社 発第470号南陽市教委	南陽市教 委	羽前小松
	31	酒町遺跡 (213-260)	南陽市	散布地	縄文時代(中期)	2017年2月17日南教社 発第470号南陽市教委	南陽市教 委	羽前小松
	32	片岸遺跡 (213-261)	南陽市	散布地	縄文時代、奈良・ 平安時代	2017年2月17日南教社 発第470号南陽市教委	南陽市教 委	羽前小松
	33	井島遺跡 (213-262)	南陽市	散布地	奈良・平安時代	2017年2月17日南教社 発第470号南陽市教委	南陽市教 委	羽前小松
	34	山田遺跡 (213-263)	南陽市	散布地	平安時代、中世	2017年2月17日南教社 発第470号南陽市教委	南陽市教 委	羽前小松
	35	円行寺遺跡 (213-264)	南陽市	散布地	中世	2017年2月17日南教社 発第470号南陽市教委	南陽市教 委	羽前小松
	36	白山田遺跡 (213-265)	南陽市	散布地	平安時代	2017年2月17日南教社 発第470号南陽市教委	南陽市教 委	羽前小松
	37	寺田遺跡 (213-266)	南陽市	散布地	古墳時代	2017年2月17日南教社 発第470号南陽市教委	南陽市教 委	赤湯
	38	西原東遺跡 (213-267)	南陽市	集落跡	奈良・平安時代	2017年2月17日南教社 発第470号南陽市教委	南陽市教 委	赤湯
	39	前畑遺跡 (213-268)	南陽市	散布地	平安時代	2017年2月17日南教社 発第470号南陽市教委	南陽市教 委	赤湯
	40	西畑遺跡 (213-269)	南陽市	散布地	平安時代	2017年2月17日南教社 発第470号南陽市教委	南陽市教 委	赤湯
	41	富塚遺跡 (213-270)	南陽市	散布地	古墳時代	2017年2月17日南教社 発第470号南陽市教委	南陽市教 委	赤湯
	42	上河原遺跡 (213-271)	南陽市	散布地	平安時代	2017年2月17日南教社 発第470号南陽市教委	南陽市教 委	赤湯
	43	十分一前遺跡 (213-272)	南陽市	散布地	縄文時代、奈良・ 平安時代	2017年2月17日南教社 発第470号南陽市教委	南陽市教 委	赤湯
	44	稲荷遺跡 (213-273)	南陽市	散布地	平安時代	2017年2月17日南教社 発第470号南陽市教委	南陽市教 委	赤湯
45	南浦遺跡 (211-088)	東根市	集落跡	平安時代	2017年5月9日東教委生 発第46号東根市教委	東根市教 委	谷地	



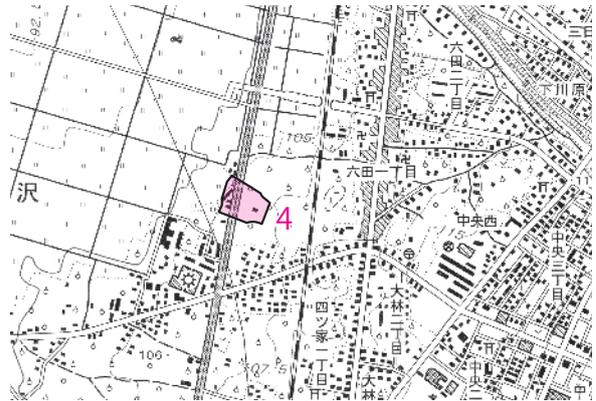
1 富貴田遺跡



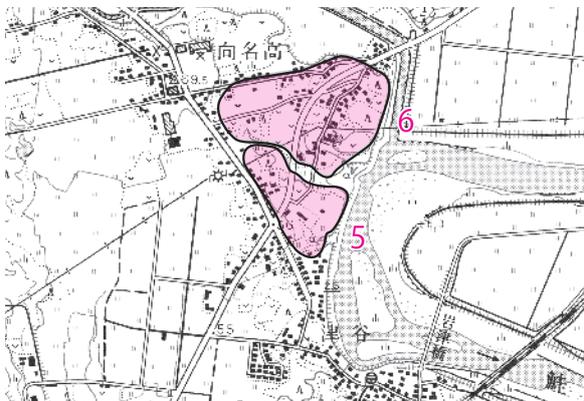
2 山居沢山 A 遺跡



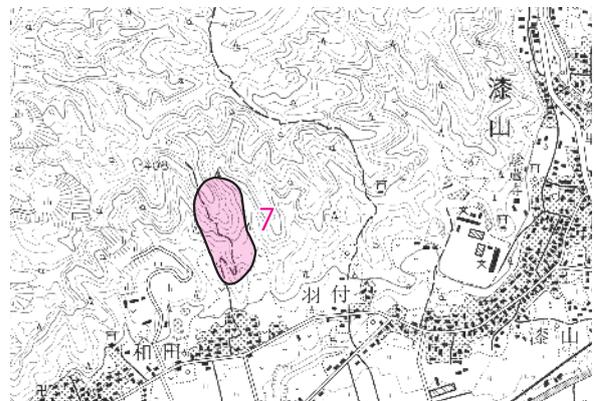
3 野田遺跡



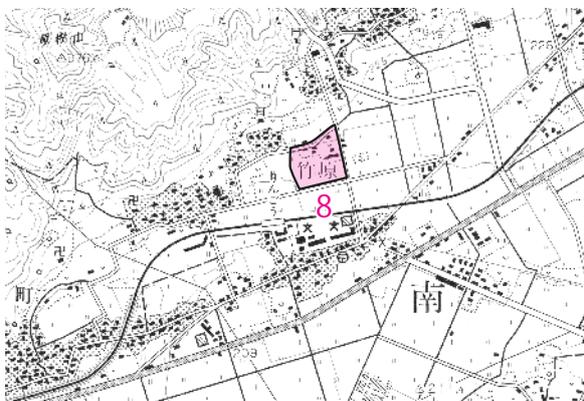
4 六田橋跡



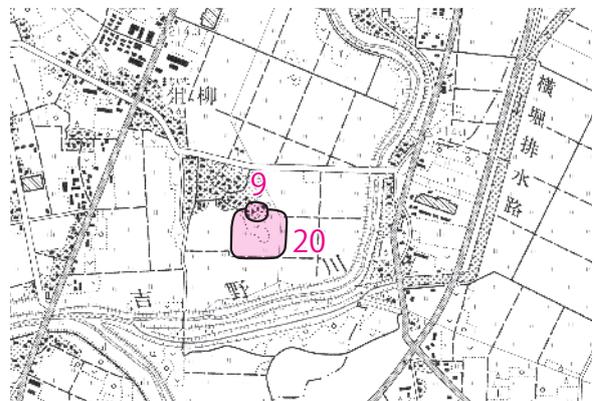
5 津谷遺跡、6 向名高遺跡



7 赤松山館跡

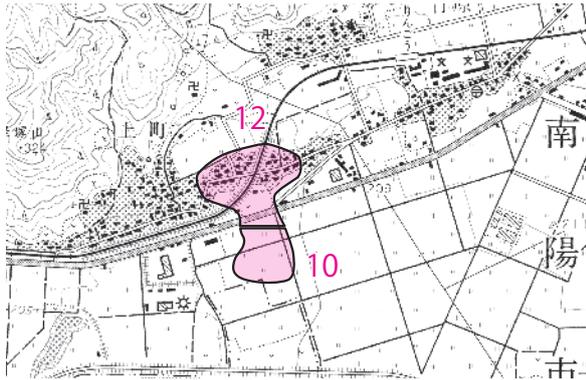


8 割田館跡

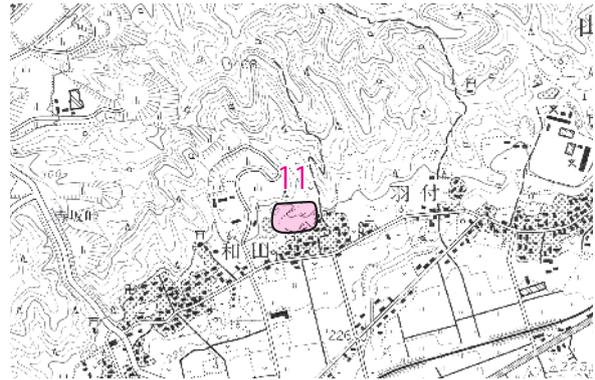


9 東畑 B 遺跡、20 組柳館跡

Ⅲ 遺跡の登録、修正と訂正



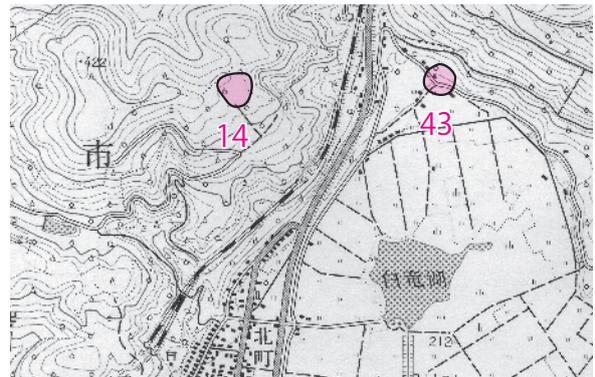
10 梨郷南館跡、12 梨郷小館跡



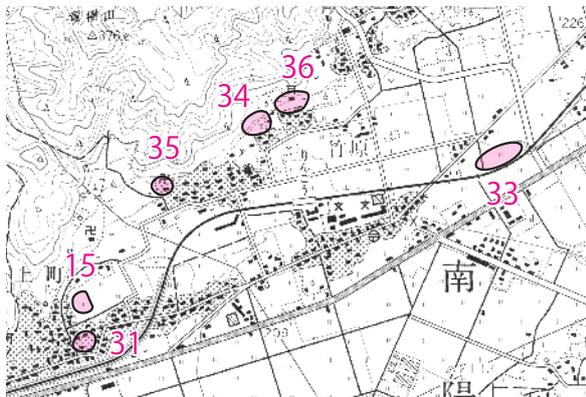
11 片岸館跡



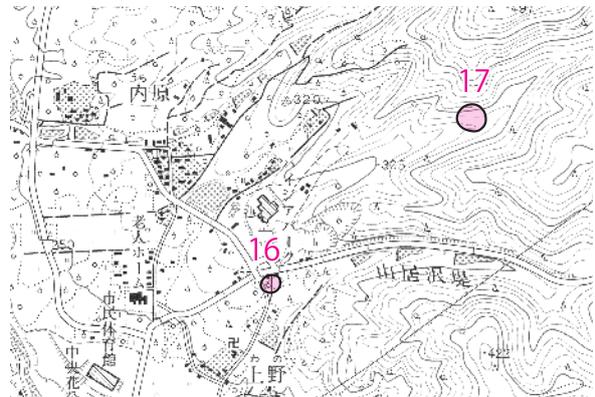
13 峠野山館跡



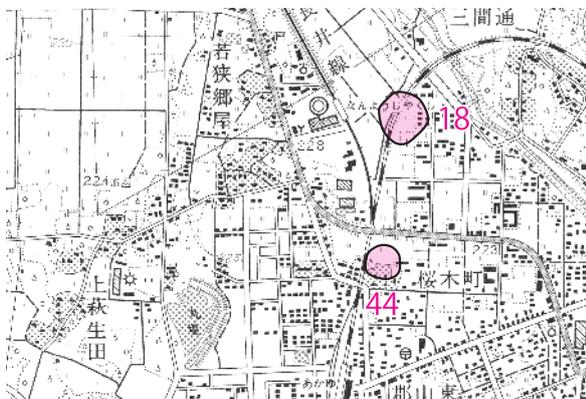
14 北ノ沢山遺跡、43 十分一前遺跡



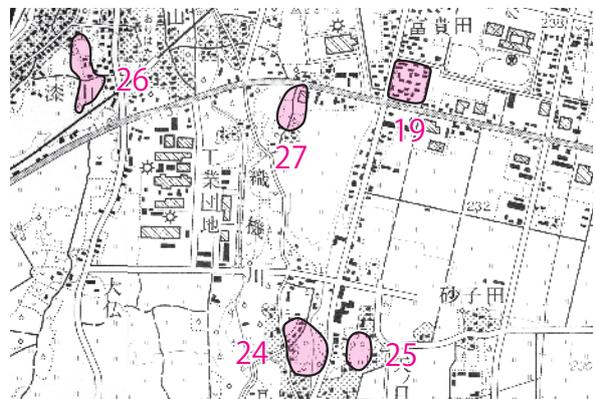
15 芹ヶ窪遺跡、31 酒町遺跡、33 井島遺跡、
34 山田遺跡、35 円行寺遺跡、36 白山田遺跡



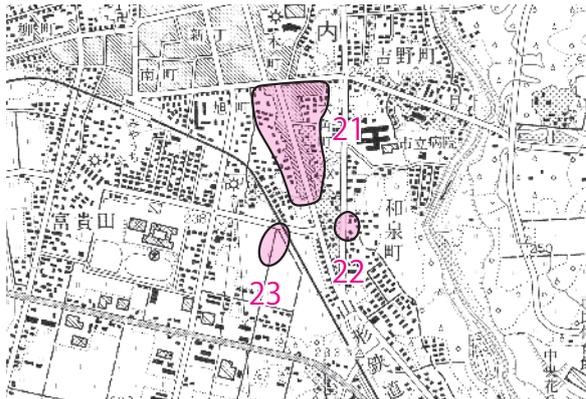
16 山居沢山 D 遺跡、17 山居沢山 E 遺跡



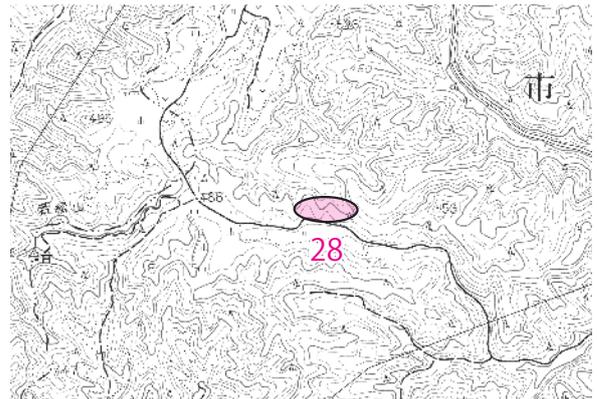
18 東唐越館跡、44 稻荷遺跡



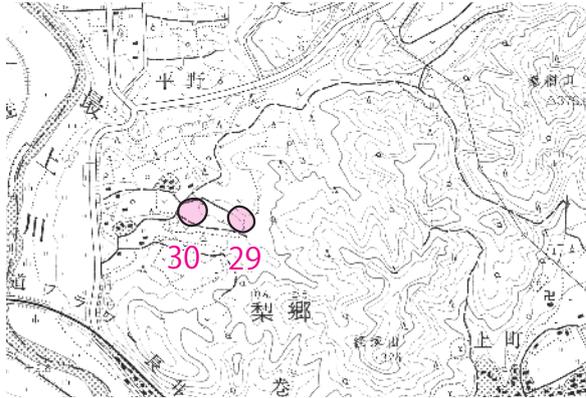
19 斎藤館跡、24 木之実小屋遺跡、25 東弁天遺跡、
26 西田中遺跡、27 猫子前遺跡



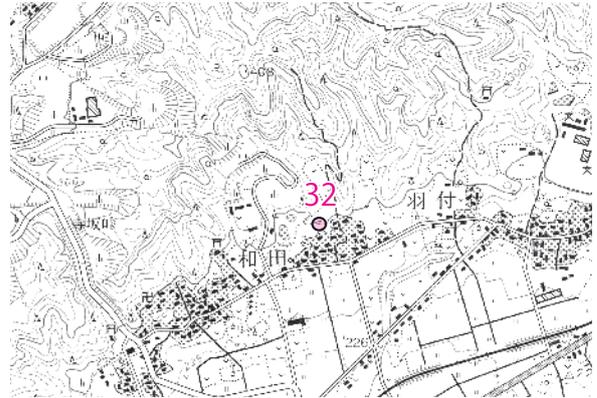
21 馬場遺跡、22 久根崎遺跡、23 桜田遺跡



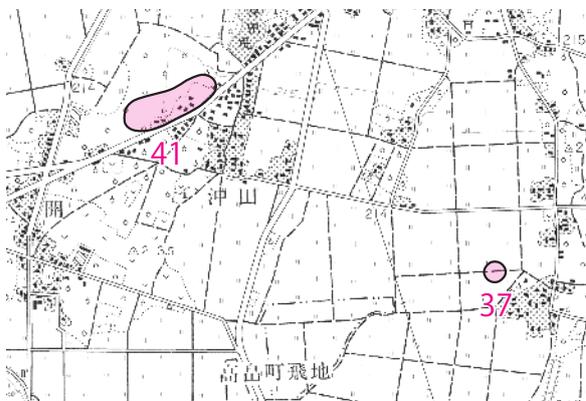
28 南須川田遺跡



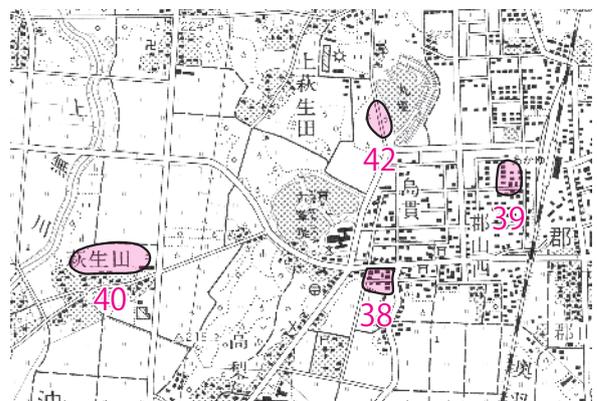
29 七捨苜遺跡、30 二本木遺跡



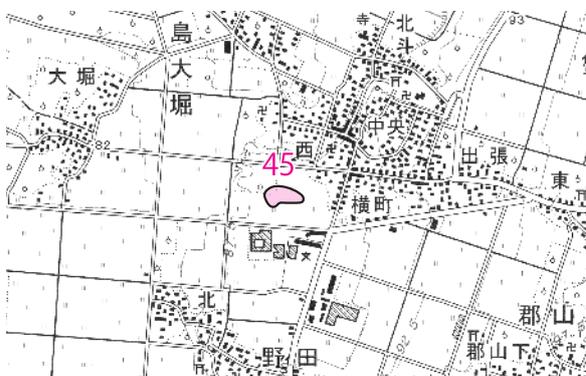
32 片岸遺跡



37 寺田遺跡、41 富塚遺跡



38 西原東遺跡、39 前畑遺跡、
40 西畑遺跡、42 上河原遺跡



45 南浦遺跡

掲載遺跡位置図使用図幅一覧(2万5千分の1)

No.	遺跡名	地図名
1	松沢遺跡、細谷館跡	上山
2	花ノ木遺跡、笹本遺跡	谷地
3	常万地区 遺跡可能性地1・2	藤島、余目
4	新田平岡遺跡、片杉野遺跡	羽前金山
5	杉沢C遺跡、杉沢B遺跡、杉沢奥屋遺跡	吹浦
6	農地整備事業(経営体育成型)円能寺・沖地区	中野俣
7	西郷名取地区 遺跡可能性地1・2	富並
8	農地整備事業(経営体育成型)高壇地区	新庄
9	農地整備事業(中山間地域型)上郷地区	手ノ子
10	薬師山楯跡、大木沢ダム遺跡	楯岡
11	三合田遺跡、大城跡	左沢、貫見
12	家老在家館跡	米沢北部
13	河島八反遺跡、月山堂遺跡	谷地
14	森林管理道念珠関線開設工事(早田C遺跡隣接地)	吹浦
15	八反稲干原遺跡	谷地
16	道路改築事業(補助)(国)287号道路改良工事(米沢北バイパス工区)	米沢北部
17	熊野館跡	羽根沢温泉
18	道路改築事業344号道路改良工事安田バイパス 遺跡可能性地	羽後観音寺
19	大沢第2遺跡、九兵衛山遺跡	羽前上郷
20	下萩館跡	羽前中山
21	赤山地すべり対策事業	羽前中山
22	県立鶴岡工業高等学校校舎整備事業体育館建設工事(鶴ヶ岡城跡隣接地)	鶴岡
23	藤島城跡	藤島
24	交番・駐在所整備事業新庄警察署肘折駐在所	肘折
25	国営かんがい排水事業毒蛇排水機場	酒田南部
26	国営かんがい排水事業中央排水機場・中央排水路	余目
27	八幡一遺跡	羽前小松
28	一般国道113号梨郷道路 遺跡可能性地1	羽前小松
29・31	戸之内田遺跡、遺跡可能性地1、一般国道7号遊佐象潟道路(奥羽本線東側～洗沢川東側)	吹浦
30	一般国道7号遊佐象潟道路 遺跡可能性地(野田遺跡東側)	吹浦
32	早田C遺跡	鼠ヶ関
33	一般国道7号朝日温海道路 遺跡可能性地	鼠ヶ関
34	川前2遺跡	山形北部
35	中野目II遺跡	山形北部
36	最上川上流河川改修事業(糠野目地区) 遺跡可能性地	赤湯、糠野目
37	最上川直轄河川改修事業(最上川中流域)	古口
38	池の頭砂防堰堤工事	大鳥
39	古館跡	羽前小松
40	JR東日本在来線列車無線地上設備取替(台ノ上遺跡近接地)	米沢、米沢東部
範囲修正	富貴田遺跡	赤湯
	山居沢山A遺跡	赤湯
	野田遺跡	吹浦

掲載遺跡位置図使用図幅一覧(2万5千分の1)

No.	遺跡名	地図名
位置訂正	六田楯跡	楯岡
	津谷遺跡	古口
	向名高遺跡	古口
	赤松山館跡	羽前小松
	割田館跡	羽前小松
	東畑B遺跡	赤湯
	梨郷南館跡	羽前小松
	片岸館跡	羽前小松
	梨郷小館跡	羽前小松
	峠野山館跡	山五十川
新規登録	北ノ沢山遺跡	赤湯
	芹ヶ窪遺跡	羽前小松
	山居沢山D遺跡	赤湯
	山居沢山E遺跡	赤湯
	東唐越館跡	赤湯
	斎藤館跡	赤湯
	俎柳館跡	赤湯
	馬場遺跡	赤湯
	久根崎遺跡	赤湯
	桜田遺跡	赤湯
	木之実小屋遺跡	赤湯
	東弁天遺跡	赤湯
	西田中遺跡	羽前小松
	猫子前遺跡	赤湯
	南須刈田遺跡	長井
	七拾苅遺跡	羽前小松
	二本木遺跡	羽前小松
	酒町遺跡	羽前小松
	片岸遺跡	羽前小松
	井島遺跡	羽前小松
	山田遺跡	羽前小松
	円行寺遺跡	羽前小松
	白山田遺跡	羽前小松
	寺田遺跡	赤湯
	西原東遺跡	赤湯
	前畑遺跡	赤湯
	西畑遺跡	赤湯
	富塚遺跡	赤湯
	上河原遺跡	赤湯
	十分一前遺跡	赤湯
稲荷遺跡	赤湯	
南浦遺跡	谷地	

報告書抄録

ふりがな	ぶんぶちょうさほうこくしょ 45							
書名	分布調査報告書 (45)							
副書名								
シリーズ名	山形県埋蔵文化財調査報告書							
シリーズ番号	第 224 集							
編著者名	竹田純子 稲村圭一 長橋至 岩崎恒平							
編集機関	山形県教育委員会							
所在地	〒 990-8570 山形県山形市松波二丁目 8 番 1 号 TEL 023-630-2879							
発行年月日	2019 年 3 月 31 日							
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード 市町村 遺跡番号		北緯 ° ' "	東経 ° ' "	発掘期間	発掘面積 m ²	発掘原因
ふじしまじょうあと 藤島城跡	やまがたけん 山形県 つるおかし 鶴岡市 ふじしまあざ 藤島字 ふるだてあと 古館跡 221	6423	423-034	38° 46' 00"	139° 54' 08"	20171003	48	試掘調査
かわまえ 2 いせき 川前 2 遺跡	やまがたけん 山形県 やまがたし 山形市 おおあざなかのめ 大字中野目 あざあかさか 字赤坂ほか	6201	201-244	38° 19' 38"	140° 18' 20"	20170912	126	試掘調査
なかのめ II いせき 中野目 II 遺跡	やまがたけん 山形県 やまがたし 山形市 おおあざなかのめ 大字中野目 あざあかさか 字赤坂ほか	6201	201-135	38° 20' 02"	140° 18' 33"	20170915	98	試掘調査
所収遺跡名	種別	主な時代		主な遺構	主な遺物	特記事項		
藤島城跡	城館跡	中世		土坑、柱穴	青磁片			
川前 2 遺跡	集落跡	古墳時代 奈良・平安時代		竪穴建物跡、 土坑、溝状遺構	須恵器、土師器	(出土品箱数：1 箱)		
中野目 II 遺跡	集落跡	平安時代		柱穴、土坑、 溝状遺構	須恵器、土師器	(出土品箱数：1 箱)		
要 約	藤島城跡	事業予定地内に 4 箇所のトレンチを設定し、試掘調査を実施した結果、4 箇所全てで柱穴、土坑、炭化物の広がりを検出した。						
	川前 2 遺跡	事業予定地内にトレンチを 5 箇所設定し、試掘調査を行ったところ、T 1～T 4 トレンチにおいて竪穴建物跡、土坑、溝状遺構が確認された。遺物は、須恵器・土師器片が出土した。						
	中野目 II 遺跡	事業予定地内に合計 4 箇所の試掘トレンチを設定し、試掘調査を実施した。T 1 トレンチから T 3 トレンチにかけて柱穴、土坑、溝状遺構が確認された。遺物は、須恵器・土師器片が出土した。						

山形県埋蔵文化財調査報告書第 224 集

分布調査報告書 (45)

平成 31 年 3 月 31 日 発行

発行 山形県教育委員会

印刷 坂部印刷株式会社

